



DHS - 112A

操作説明書

適用機種
DHS - 112A

株式会社 ディジ・テック

改訂履歴表

改訂年月日	版	改訂内容
2013/12/23	第1版	初版
2014/ 4/ 3	第2版	ファーム V1.20 リリースに伴い以下を変更 ・ P.10, 28, 43 通信方式切り替え時のアドレス消去について記述を追加 ・ P.11 ソフトキー表示/非表示の方法を変更 ・ P.14, 17, 21, 32, 33, 41 設定項目に「長押し時間」を追加 ・ P.28, 38 通信方式の工場出荷設定を「マスタ」に変更 ・ P.30 先頭付加「AIM 準拠」設定の Industrial2of5 を変更 ・ P.35 ペアリングモードの時間を 120 秒に変更 ・ P.49 「自動オフ時間」設定バーコードを数値入力式に変更
2014/10/14	第3版	・ P.13, 26, 38, 42 JAN/EAN/UPCE 設定を変更 ・ P.11 HID 使用時の注意点を記述 ・ P.50 スキャン動作中のホスト制御について記述
2014/11/27	第4版	・ P.14, 17, 21, 31, 49 「自動オフ」設定の記述を修正

目次

1. 概要	1
2. 各部の名称	1
3. スキャナモード	2
3-1. 機能概要	2
3-2. 操作方法（接続前）	2
3-2-1. アドレスバーコードを読み取って『マスタ接続』（対応プロファイル：SPP、HID）	3
3-2-2. アドレスバーコード（1桁）を読み取って『マスタ接続』（対応プロファイル：SPP、HID）	4
3-2-3. ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』（対応プロファイル：SPP、HID）	6
3-2-4. 登録しているアドレスへ『マスタ接続』（対応プロファイル：SPP、HID）	7
3-2-5. 『スレーブ接続』（対応プロファイル：SPP）	8
3-2-6. 『デモ動作』	9
3-3. 操作方法（接続後）	11
3-4. 設定項目	13
4. 1対1照合モード	15
4-1. 機能概要	15
4-2. 操作方法	15
4-3. 設定項目	17
5. 1対N照合モード	18
5-1. 機能概要	18
5-2. 操作方法	18
5-3. 設定項目	21
6. 設定方法	22
6-1. バーコードを読み取って設定	22
6-2. 設定ツールで設定	24
6-3. アプリケーションからの一括設定	25
7. 設定内容	26
8. 設定初期化	34
9. 状態早見表	35
10. 付録	36
10-1. ペアリングバーコード	36
10-2. アドレスバーコード	36
10-3. アドレスバーコード（1桁入力用）	37
10-4. 設定データ	38
10-5. 設定バーコード	42
10-6. ホスト制御	50
11. 困ったときには	51

1. 概要

DHS-112A は、バーコードリーダを搭載したBluetooth ハンディスキャナです。

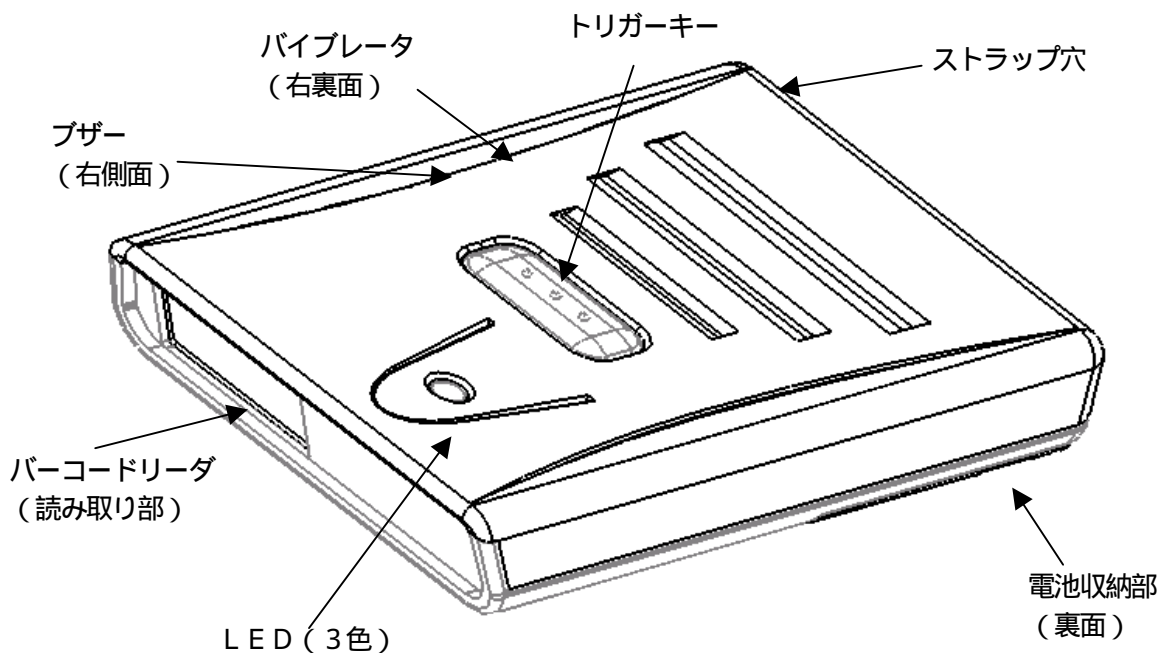
本機1台で、スキャナモード、1対1照合モード、1対N照合モードの3つの機能をお使いいただけます。

- ・スキャナモード . . . Bluetooth通信でバーコードデータをリアルタイム送信します。
通信方式(プロファイル)は、Serial Port Profile(SPP)通信と Human Interface Device(HID)通信に対応しています。
- ・1対1照合モード . . . バーコードの照合を行い、結果をブザーとバイブレータでお知らせします。
1つのバーコードに対し、1つのバーコードとの照合を行います。
- ・1対N照合モード . . . バーコードの照合を行い、結果をブザーとバイブレータでお知らせします。
1つのバーコードに対し、複数のバーコードとの照合を行います。

Bluetoothのペアリング方式はSSP (Secure Simple Pairing) およびPINコードに対応しております。本機のPINコードは"3939"です。

1対1照合モード、1対N照合モードはBluetooth通信を行いません。

2. 各部の名称



DHS-112A Bluetooth®ハンディスキャナ (バーコードリーダ搭載モデル)

3. スキャナモード

3-1. 機能概要

Bluetooth 通信でバーコードデータをリアルタイム送信します。

通信方式（プロファイル）は、Serial Port Profile(SPP)通信と Human Interface Device(HID)通信があります。

SPP 通信の場合、送信データはシリアルデータとなります。

HID 通信の場合、送信データはキーボード入力されます。また HID 通信で iOS 機器（iPhone や iPad など）と接続している場合、ソフトウェアキーボードの表示/非表示を切り替えることができます。

3-2. 操作方法（接続前）

電源オフの状態ですりキーを押すと、Bluetooth 接続を行います。

Bluetooth 接続は、以下の操作より選択できます。

- ・アドレスバーコードを読み取って、『マスタ接続』
- ・アドレスバーコード（1桁）を読み取って、『マスタ接続』
- ・ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』
- ・登録しているアドレスへ『マスタ接続』
（工場出荷状態より、設定を変える必要があります。）
- ・『スレーブ接続』
（工場出荷状態より、設定を変える必要があります。SPP 通信の場合のみ使用できます。）

各動作の説明をします。

なお、接続後の操作方法については、[3-3. 操作方法（接続後）](#)をご参照下さい。

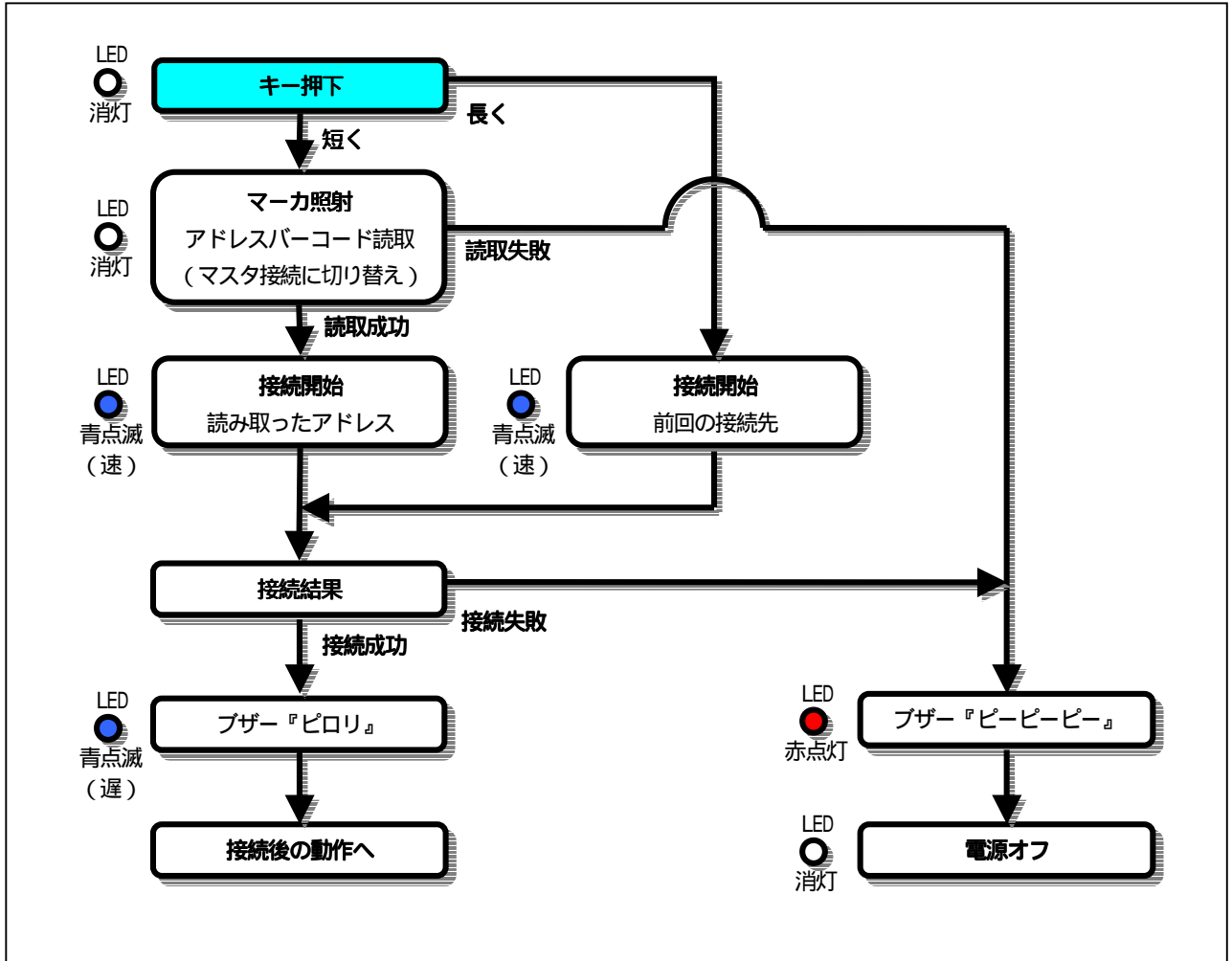
3-2-1. アドレスバーコードを読み取って『マスタ接続』(対応プロファイル: SPP、HID)

トリガーキーを短く押し、アドレスバーコードを読ませます。すると、そのアドレスへ接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。

一度読み取ったアドレスは登録され、電源オフしても消えません。

HID 通信の場合、相手機器によっては接続できないことがあります。その場合は[3-2-3. ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』を試して下さい。](#)

動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定: 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
 【通信】 - 【接続モード】 - 【マスタ】
 【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

アドレスバーコードについては、[1.0-2. アドレスバーコード](#)を参照してください。

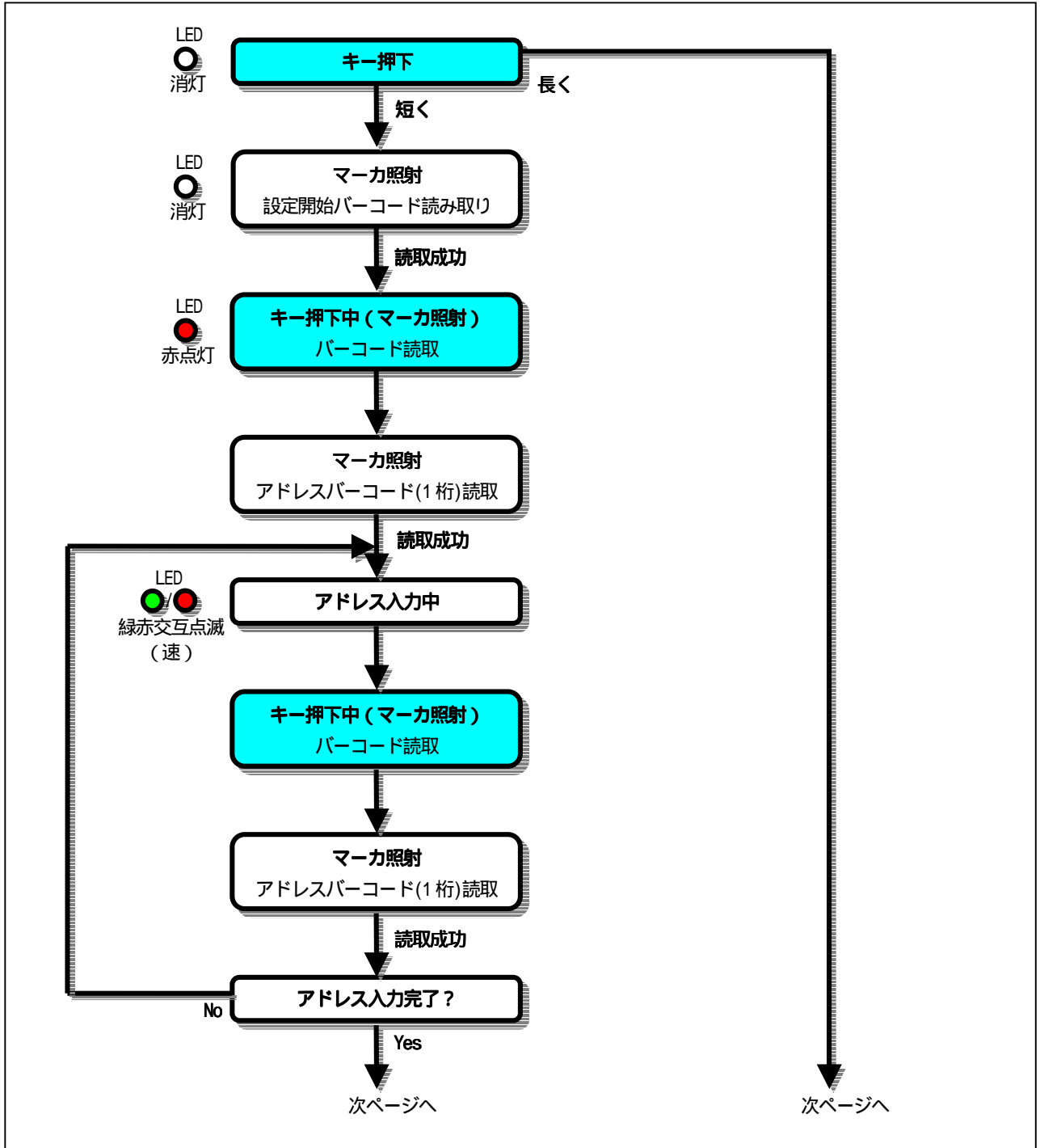
3-2-2. アドレスバーコード(1桁)を読み取って『マスタ接続』(対応プロファイル:SPP、HID)

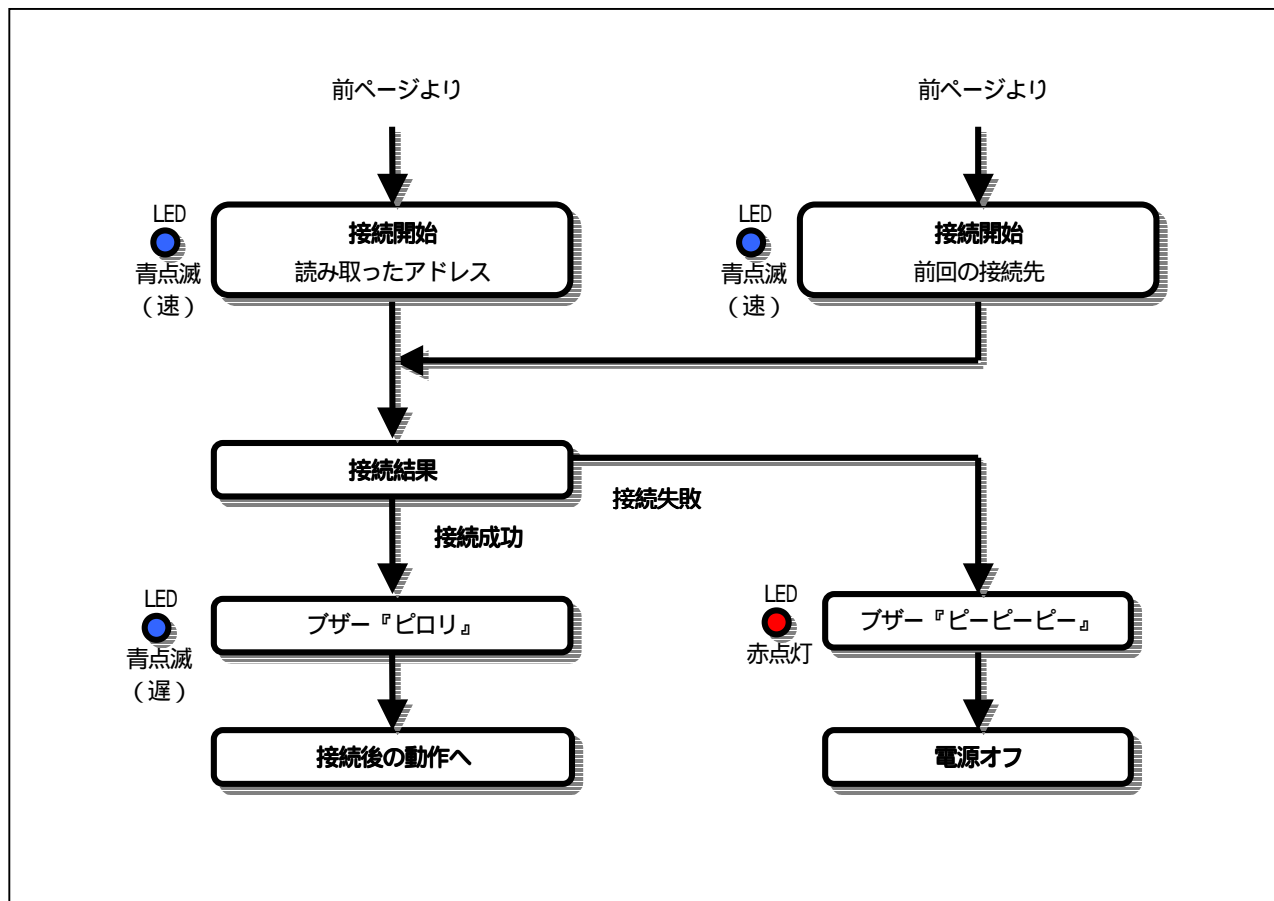
トリガーキーを短く押し、設定開始バーコードを読ませます。アドレスバーコード(1桁)を12回読み取ると、そのアドレスへ接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。

一度読み取ったアドレスは登録され、電源オフしても消えません。

HID通信の場合、相手機器によっては接続できないことがあります。その場合は[3-2-3. ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』を試して下さい。](#)

動作の流れを以下に示します。



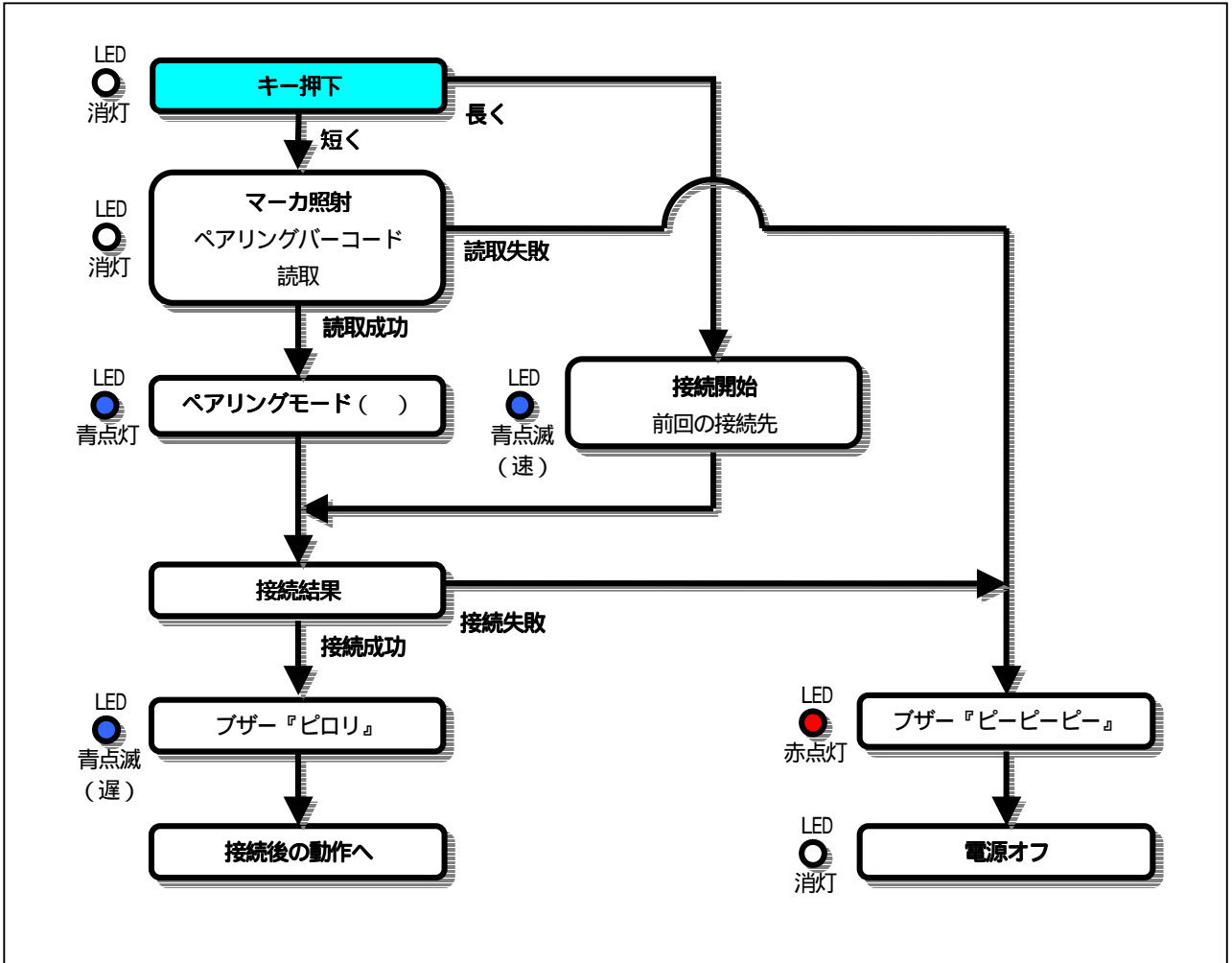


この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
 【通信】 - 【接続モード】 - 【マスク】
 【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

アドレスバーコード(1桁)については、[10 - 3 . アドレスバーコード\(1桁入力用\)](#)を参照して下さい。

3-2-3. ペアリングバーコードを読み取って、ペアリング要求のあった機器へ『マスタ接続』(対応プロフィール: SPP、HID)

トリガーキーを短く押し、ペアリングバーコードを読み取ると、ペアリング待ちになります。この状態で接続したい機器からペアリングを行います。ペアリングが完了すると、DHS-112A より接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。一度ペアリングした機器は登録され、電源オフしても消えません。動作の流れを以下に記します。



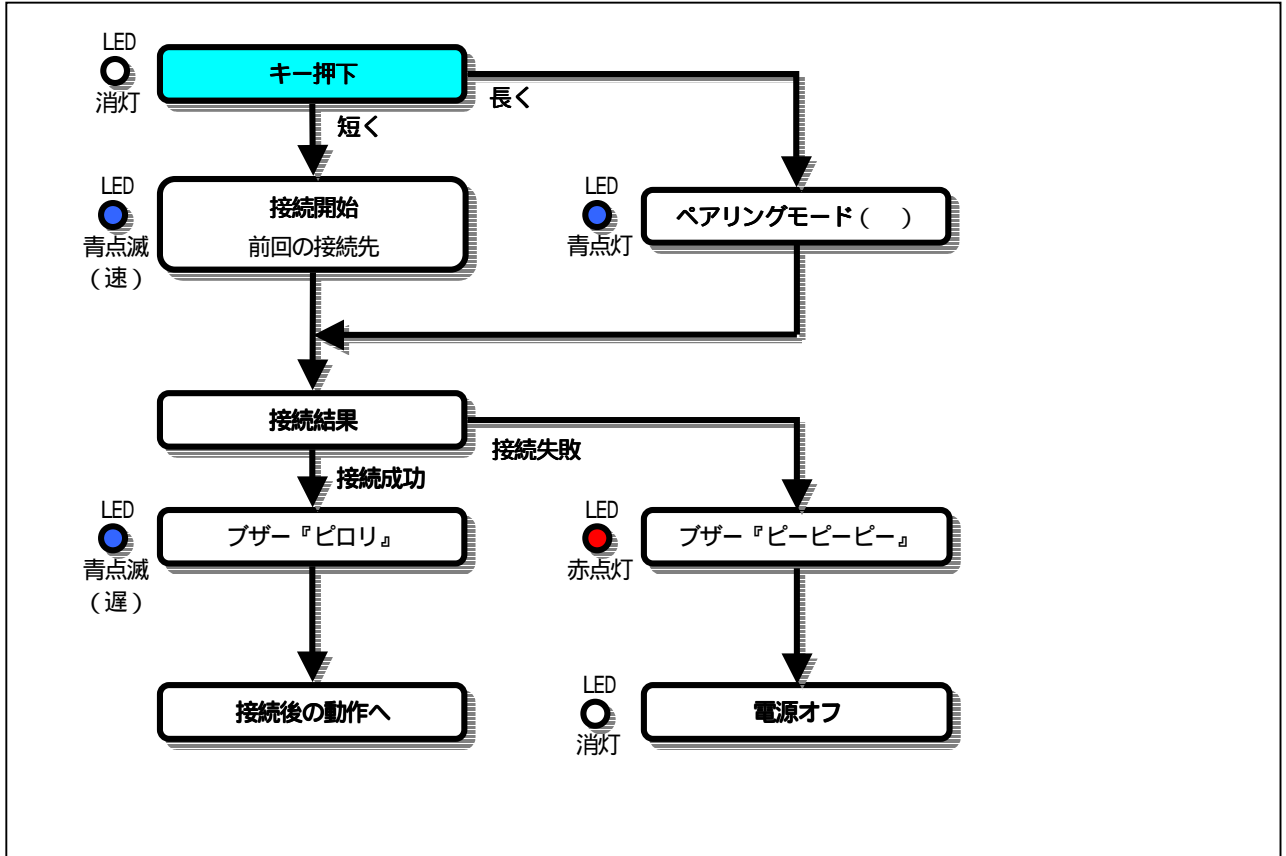
この動作の基本設定: 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
 【通信】 - 【接続モード】 - 【マスタ】
 【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

ペアリングバーコードについては、[1.0-1. ペアリングバーコード](#)を参照して下さい。
 ペアリングモードについては、[3-2-6. 『デモ動作』の 印の項目](#)を参照して下さい。

3-2-4. 登録しているアドレスへ『マスタ接続』(対応プロファイル: SPP、HID)

この方法は、工場出荷状態より、設定を変える必要があります。

トリガーキーを短く押すと、前回の接続先へ接続を開始し、ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了します。前回の接続先の情報が無い場合は、トリガーキーを押した後すぐにブザーが『ピーピーピー』と鳴り接続失敗します。この場合は一度ペアリングモードにして接続したい機器よりペアリングを行って下さい。動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
 【通信】 - 【接続モード】 - 【マスタ】
 【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】

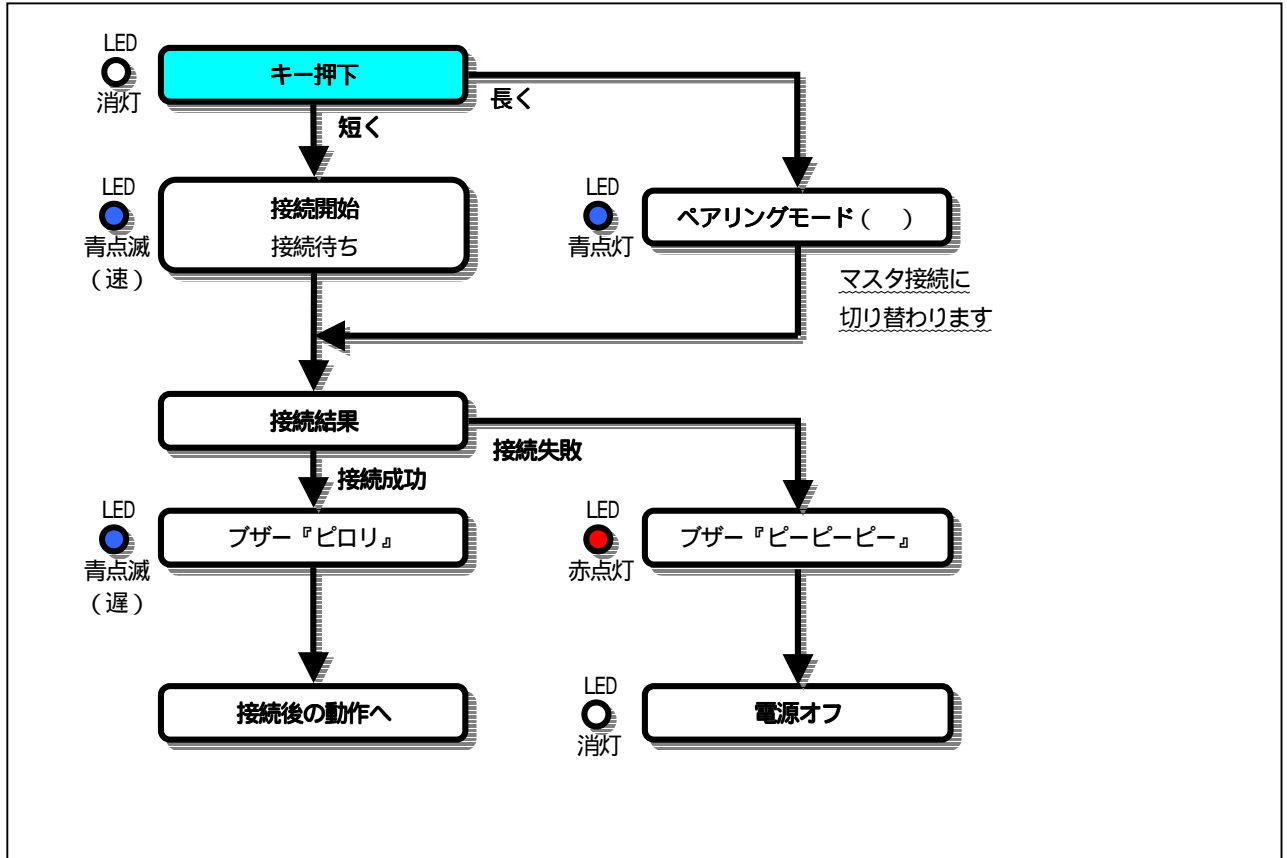
ペアリングモードについては、[3-2-6. 『デモ動作』の 印の項目](#)を参照して下さい。

3-2-5. 『スレーブ接続』(対応プロファイル:SPP)

この方法は、工場出荷状態より、設定を変える必要があります。またこの方法はSPP通信の場合のみ行うことが出来ます。

トリガーキーを短く押すと、接続待ちになります。接続したい機器から接続を開始して下さい。ブザーが『ピロリ』と鳴ると接続が完了です。

なお、ペアリングを行うとスレーブ接続からマスタ接続に切り替わります。動作の流れを以下に記します。



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
【通信】 - 【接続モード】 - 【スレーブ】

ペアリングモードについては、[3-2-6. 『デモ動作』の 印の項目](#)を参照して下さい。

3-2-6. 『デモ動作』

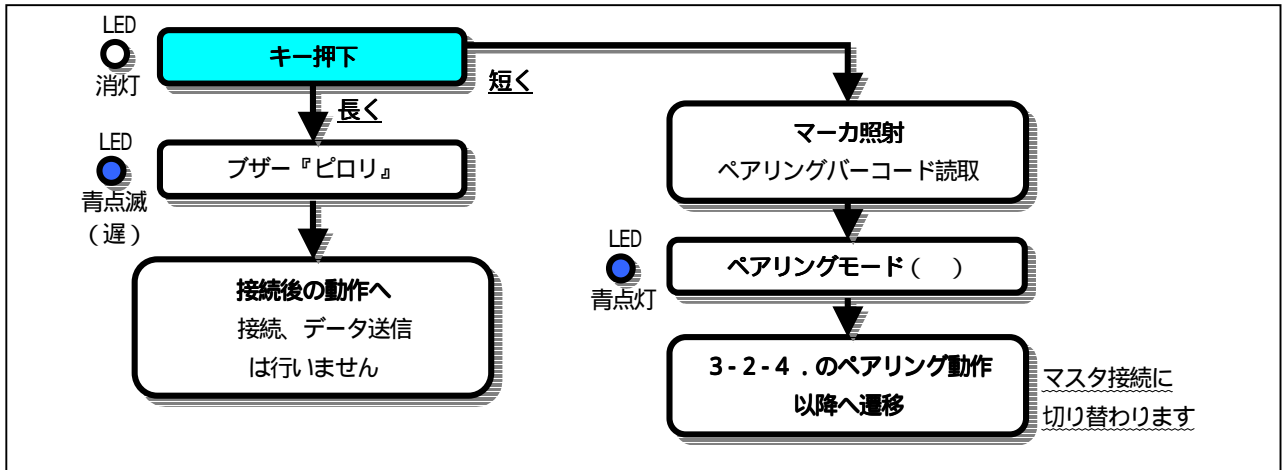
この方法は、工場出荷状態より、設定を変える必要があります。

この方法ではBluetooth 接続は行わず、接続後の読み取り動作を再現します。接続を行わないデモ動作ですのでデータ送信は行いません。

トリガーキーを押すと、ブザーがピロリと鳴り、接続後の動作になります。トリガーキーの押し方は設定によって異なります。「起動時：バーコード読み取り」設定の場合は長く、「起動時：Bluetooth 接続」設定の場合は短く押しして下さい。

各動作の流れを以下に記します。

・「起動時：バーコード読み取り」設定の場合



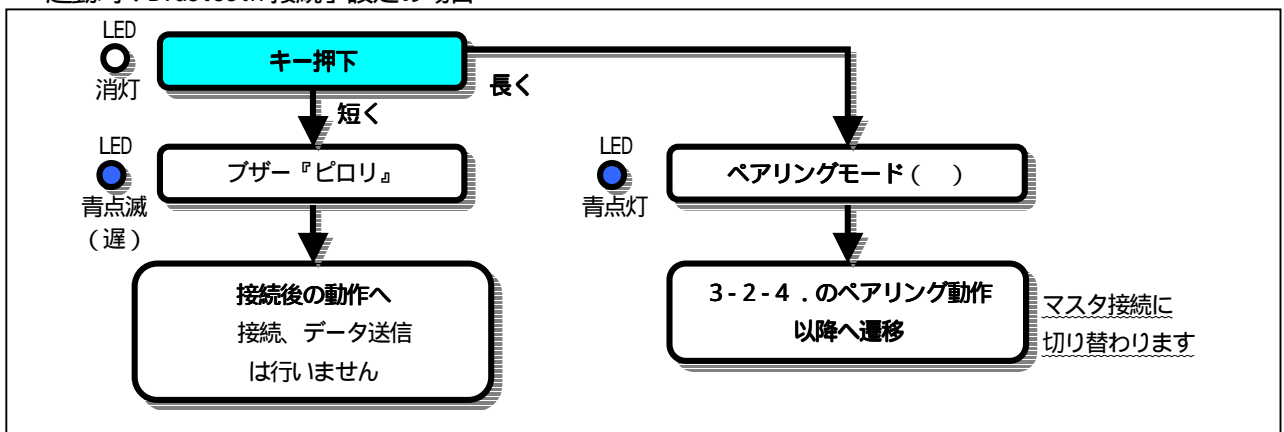
この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】

【通信】 - 【接続モード】 - 【接続しない】

【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】

一度ペアリングを行ってからご使用下さい。ペアリング情報が無い場合、接続後の動作にならずに電源オフします。

・「起動時：Bluetooth 接続」設定の場合



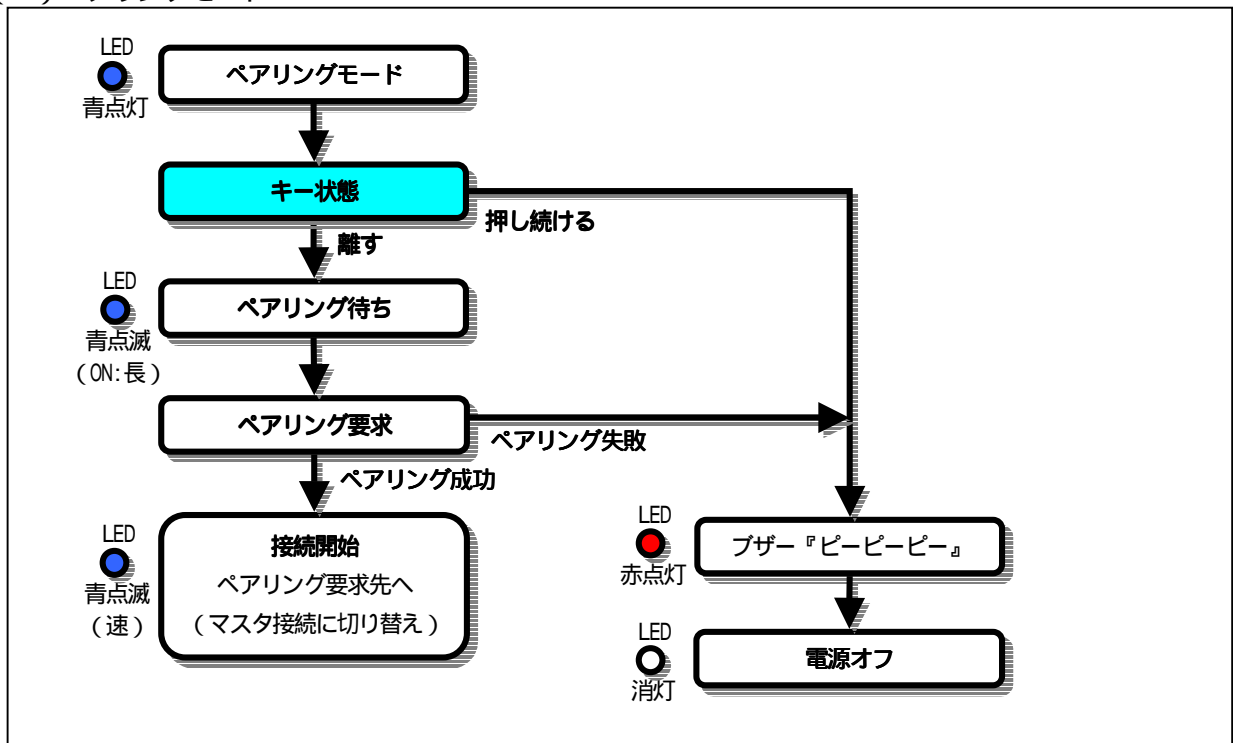
この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】

【通信】 - 【接続モード】 - 【接続しない】

【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】

デモ動作をやめて接続を行う動作に変更する場合は、ペアリングモードにして、接続したい機器よりペアリングを行って下さい。ペアリングが完了すると、マスタ接続を行う動作になります。

() ペアリングモード



デバイス名は、『DHS-100A xxxxxx』となります。xxxxxx は、機器 ID です。
 一度ペアリングした機器は登録され、電源オフしても消えません。
ただし登録完了後にペアリングモードにした場合や、設定で通信方式を切り替えた場合には、登録されたペアリング情報は消去されます。
その場合は再度ペアリングを行って接続機器を登録し直して下さい。

ペアリング操作中、接続機器側で PIN コードの入力画面が表示された場合は"3939"を入力して下さい。

3-3. 操作方法（接続後）

トリガーキーを押す毎にバーコード読み取りを行います。
読み取り成功すると、バーコードデータを送信します。
終了する場合は、トリガーキーを7秒以上長押しして電源オフします。

HID通信でご使用になる場合

- 読み取りを行う際は、あらかじめ接続機器の入力フィールドにカーソルを移動しておいて下さい（図1）
 - iOS 機器と接続している場合は、トリガーキーを3秒間押しすと、接続機器のソフトウェアキーボードを表示/非表示させることができます。
 - 送信したデータが正しく表示されない場合は、「HID 文字間タイムアウト」および「HID キー変換」が正しく設定されているかご確認ください。
 - 通信距離や電波環境等によりデータが正しく入力されない場合がありますのでご注意ください。
- ご使用の環境であらかじめ動作を確認することをおすすめします。

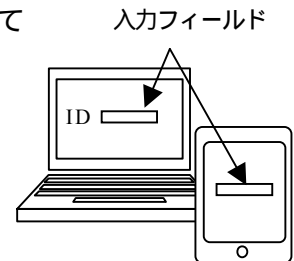


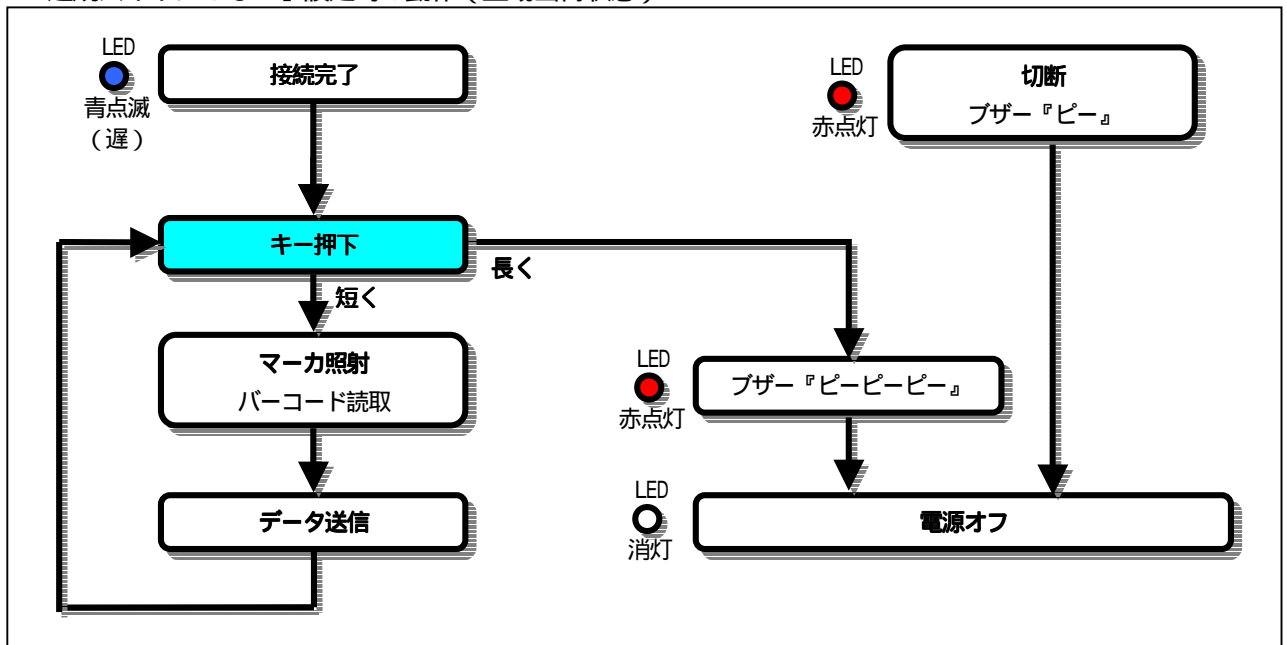
図 1

連続スキャンについて

連続スキャンを設定している場合は、連続的に読み取り動作を行います。トリガーキーを押すと読み取り動作を開始します。動作中は次々とバーコード読み取りを行い、再度トリガーキーを押すと読み取り動作を中断します。何も読み取らずに10秒経過した場合も自動的に読み取りを中断します。

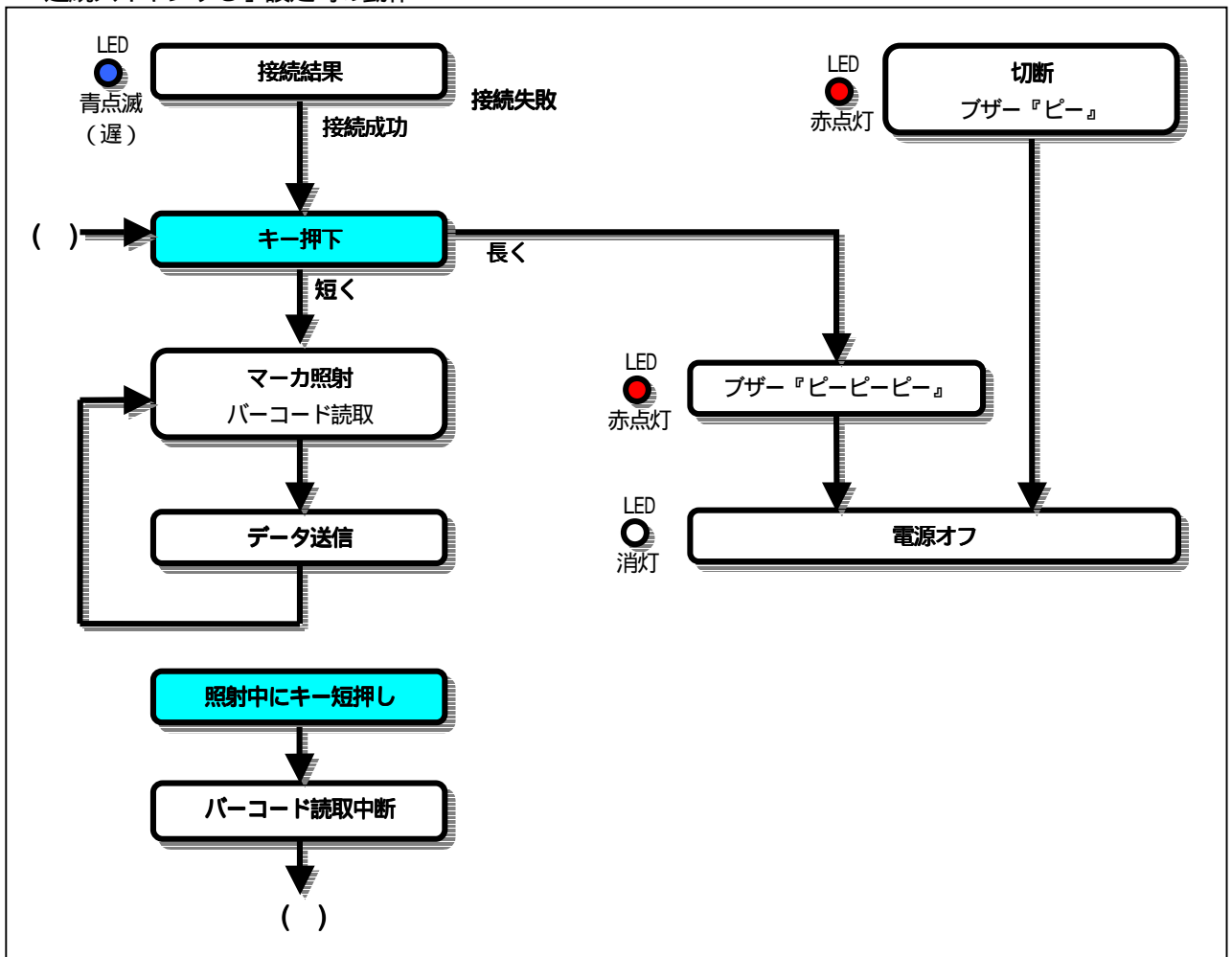
連続スキャンしない設定の場合とする設定の場合それぞれの動作の流れを示します。

- 「連続スキャンしない」設定時の動作（工場出荷状態）



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
【デバイス】 - 【連続スキャン】 - 【しない】

・「連続スキャンする」設定時の動作



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【スキャナモード】
 【デバイス】 - 【連続スキャン】 - 【する】

3-4. 設定項目

スキャナモードで使用する設定項目は以下の通りです。

設定一覧（ : 工場出荷設定）

[読み取りバーコード]

JAN/EAN/UPCE

読み取る (UPC-A は 13 桁)

読み取る (UPC-A は 12 桁)

読み取らない

ITF

ITF として読む

ITF-6, 14, 16 として読む

読み取らない

NW7

スタートストップ 付

スタートストップ 無

スタートストップ 付, C D

スタートストップ 無, C D

読み取らない

Code39

スタートストップ 付

スタートストップ 無

スタートストップ 付, C D

スタートストップ 無, C D

読み取らない

Code128

読み取る

読み取らない

Industrial-2of5

読み取る

読み取らない

GS1-128(旧称 UCC/EAN-128)

読み取る

読み取らない

新雑誌コード

読み取る

読み取らない

[通信]

接続モード

マスタ

スレーブ

接続しない

通信方式

SPP 通信

HID 通信 (通常)

応答確認 (通信方式が SPP のみ設定有効)

無し

ACK

ホスト制御 (通信方式が SPP のみ設定有効)

無し

有り

HID キー変換 (通信方式が HID のみ設定有効)

英語キーボード

日本語キーボード

HID 文字間タイムアウト (通信方式が HID のみ設定有効)

0~50 (0) 単位 : 10ms

[デバイス]

2度読み防止

無し

有り

ブザー音

有り

無し

バイブレータ

有り

無し

連続スキャン

しない

する

メイン動作

スキャナモード

1対1照合モード

1対N照合モード

[データ]**先頭付加(バーコード)**

- 無し
- Symbol 準拠
- AIM 準拠

終端付加

- 無し
- CR
- LF
- TAB
- ETX(STX)

[電源管理]**自動オフ**

- 0 (自動オフしない)
- 1~99分 (5分)

[データ項目]**区切り設定**

- CR
- LF
- TAB
- カンマ

機器 ID 付加

- しない
- する

[キー操作]**起動時**

- バーコード読み取り
- Bluetooth 接続

[長押し時間]**長押し時間[前回接続先に接続]**

- 2~10秒 (3秒)

長押し時間[ペアリングモードに移行]

- 2~10秒 (5秒)

長押し時間[ソフトキーON]

- 1~ 9秒 (3秒)

長押し時間[電源オフ]

- 2~10秒 (7秒)

4. 1対1照合モード

4-1. 機能概要

1つの照合元バーコードに対して1つの照合対象バーコードと照合を行い、結果をお知らせします。バーコード同士を単純に照合する他に、バーコードの一部分を比較する事も出来ます。照合結果をお知らせすると、自動的に電源を切ります。

4-2. 操作方法

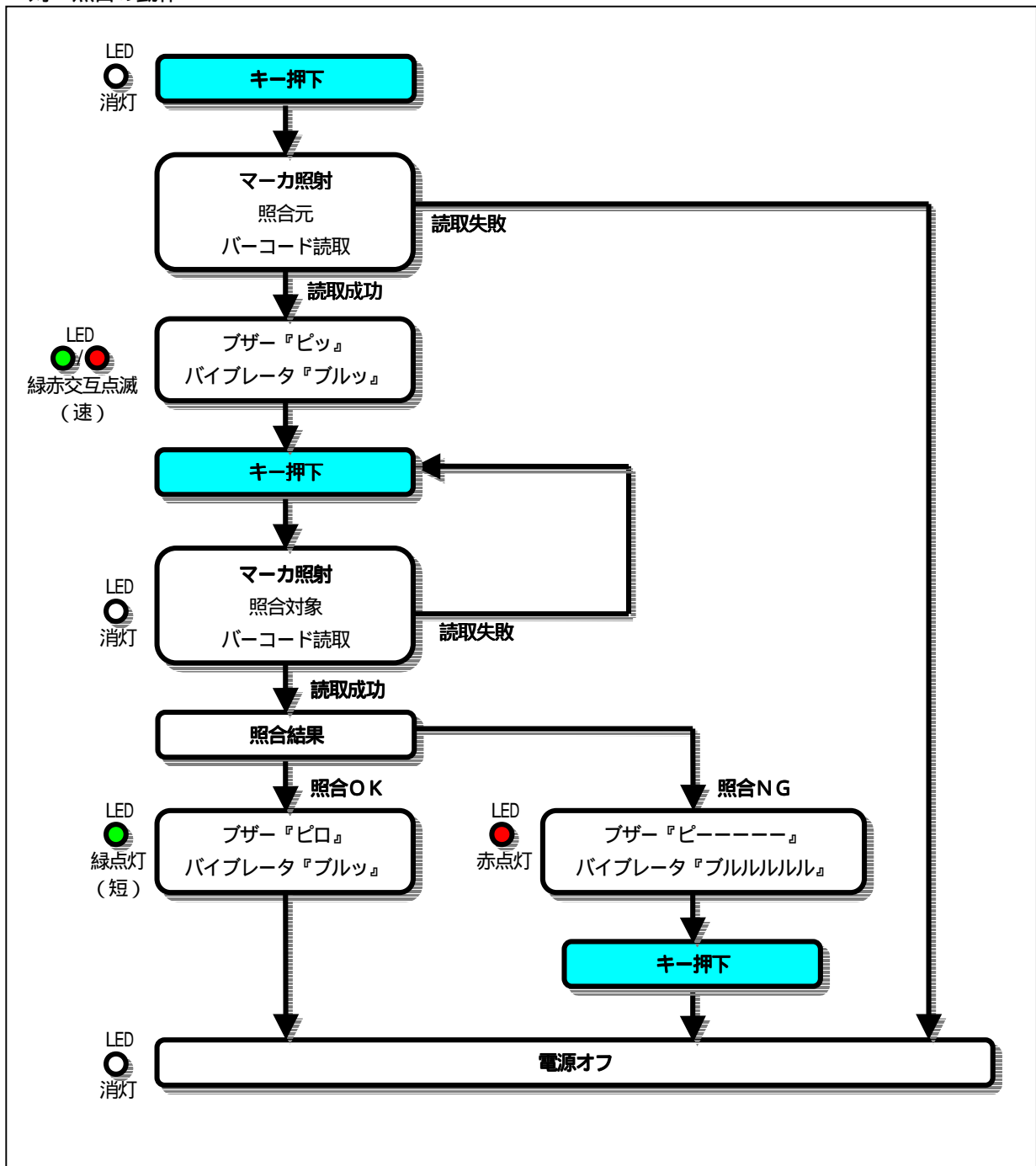
トリガーキーを押し、照合元バーコードを読ませて下さい。読み取れたらブザーが『ピッ』と鳴ります。続けてトリガーキーを押して照合対象バーコードを読み取って下さい。連続スキャンを設定している場合は、照合元バーコードを読み取るとすぐに照合対象バーコードの読み取り動作が開始されます。

照合対象バーコードが読み取れたら、照合元、照合対象のバーコードの内容を比較し、結果が通知されます。照合OKの場合は、OK通知(ブザー『ピロ』、バイブレータ『ブルッ』)をして電源が切れます。照合NGの場合は、NG通知(ブザー『ピーー』、バイブレータ『ブルルルルルル』)をします。トリガーキーを押すとNG通知が止まり電源が切れます。

照合対象読み取り中にトリガーキーを長押しすると、ブザーが『ピーピーピー』と鳴り電源が切れます。

次ページに動作の流れを記します。

1対1照合の動作



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【1対1照合モード】
 【デバイス】 - 【連続スキャン】 - 【する】

4-3. 設定項目

1対1照合で使用する設定項目は以下の通りです。

設定一覧 (:工場出荷設定)

[照合元バーコード]

JAN/EAN/UPCE

読み取る
読み取らない

ITF

ITFとして読む
ITF-6,14,16として読む
読み取らない

NW7

スタートストップ付
スタートストップ無
スタートストップ付,CD
スタートストップ無,CD
読み取らない

Code39

スタートストップ付
スタートストップ無
スタートストップ付,CD
スタートストップ無,CD
読み取らない

Code128

読み取る
読み取らない

Industrial-2of5

読み取る
読み取らない

GS1-128(旧称UCC/EAN-128)

読み取る
読み取らない

新雑誌コード

読み取る
読み取らない

[照合対象バーコード]

項目内容および工場出荷設定は
照合元バーコードと同様です。

[照合動作]

照合方法

単純照合
部分照合

照合元開始桁

1~99 (1)

照合対象開始桁

1~99 (1)

照合桁数

1~99 (1)

[デバイス]

2度読み防止

無し
有り

ブザー音

有り
無し

バイブレータ

有り
無し

連続スキャン

無し
有り

メイン動作

スキャナモード
1対1照合モード
1対N照合モード

[電源管理]

自動オフ

0(自動オフしない)
1~99分 (5分)

[長押し時間]

長押し時間[電源オフ]

2~10秒 (7秒)

5. 1対N照合モード

5-1. 機能概要

1つの照合元バーコードに対して複数の照合対象バーコードと照合を行い、結果をお知らせします。バーコード同士を単純に照合する他に、バーコードの一部分を比較する事も出来ます。照合NGの際に、照合対象を読み取り直すか、照合元を読み取り直すかを設定で選べます。

5-2. 操作方法

トリガーキーを押し、照合元バーコードを読ませて下さい。読み取れたらブザーが『ピッ』と鳴ります。続けてトリガーキーを押して照合対象バーコードを読み取って下さい。連続スキャンを設定している場合は、すぐに読み取り動作を開始します。トリガーキーを押すと読み取り動作を中断および再開します。

照合対象バーコードが読み取れたら、照合元、照合対象のバーコードの内容を比較し、結果を通知します。照合OKの場合は、OK通知(ブザー『ピロ』、バイブレータ『ブルツ』)となります。照合NGの場合は、NG通知(ブザー『ピーー』、バイブレータ『ブルルルルルル』)となります。トリガーキーを押すとNG通知が止まります。

「NG時 次読み取り」を「照合元」に設定している場合はトリガーキーを押すと電源が切れます。

以下、を繰り返して照合を行います。

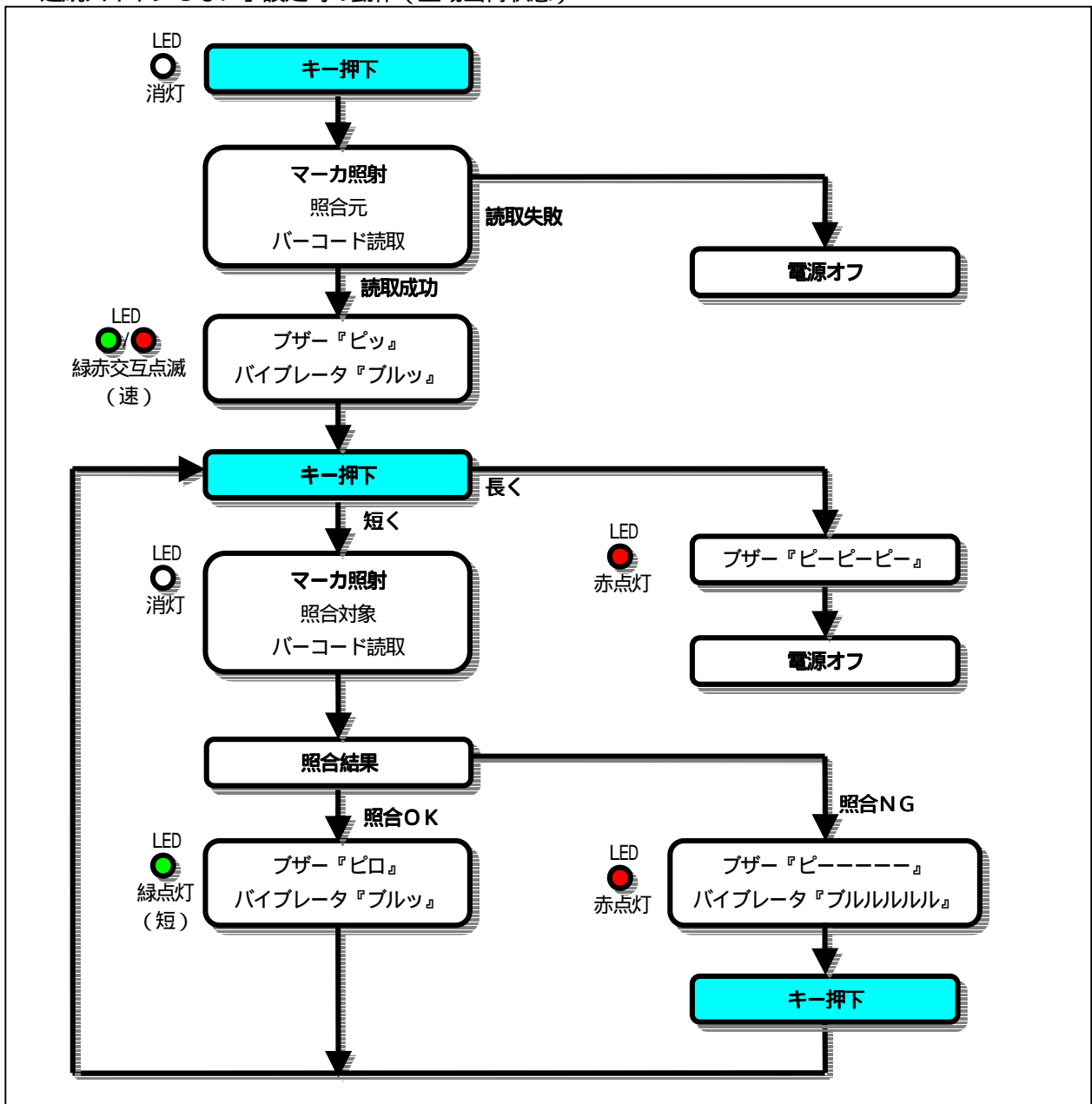
照合対象読み取り中にトリガーキーを長押しすると、ブザーが『ピーピーピー』と鳴り電源が切れます。

連続スキャンについて

連続スキャンを設定している場合は、連続的に読み取り動作を行います。トリガーキーを押すと読み取り動作を開始します。動作中は次々とバーコード読み取りを行い、再度トリガーキーを押すと読み取り動作を中断します。何も読み取らずに10秒経過した場合も自動的に読み取りを中断します。

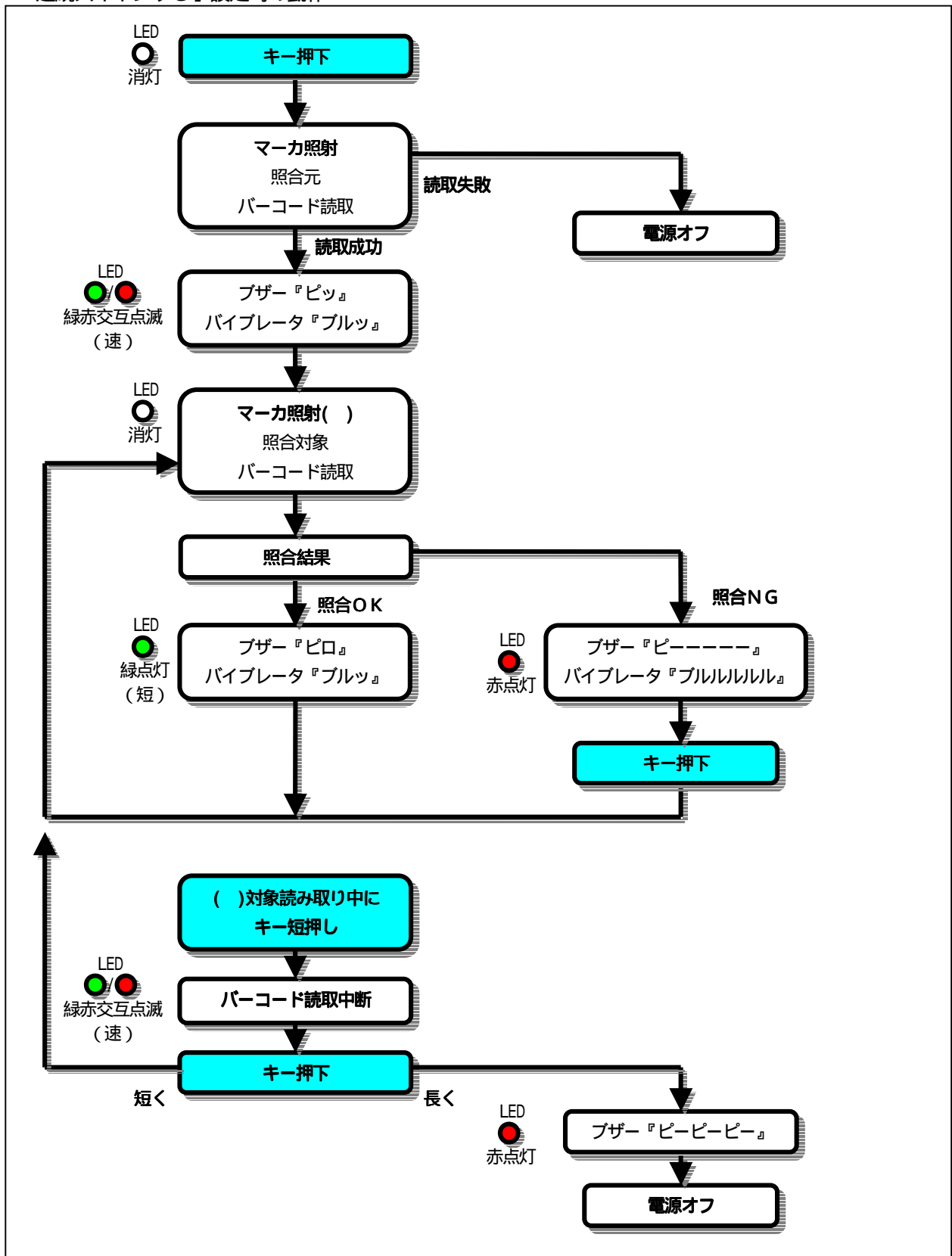
連続スキャンしない設定の場合とする設定の場合それぞれの動作の流れを次ページに示します。

・「連続スキャンしない」設定時の動作（工場出荷状態）



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【1対N照合モード】
 【デバイス】 - 【連続スキャン】 - 【する】

・「連続スキャンする」設定時の動作



この動作の基本設定： 【デバイス】 - 【動作モード】 - 【1対N照合モード】
【デバイス】 - 【連続スキャン】 - 【する】

5-3. 設定項目

1対N照合で使用する設定項目は以下の通りです。

設定一覧 (: 工場出荷設定)

[照合元バーコード]

JAN/EAN/UPCE

読み取る
読み取らない

ITF

ITFとして読む
ITF-6, 14, 16として読む
読み取らない

NW7

スタートストップ付
スタートストップ無
スタートストップ付, CD
スタートストップ無, CD
読み取らない

Code39

スタートストップ付
スタートストップ無
スタートストップ付, CD
スタートストップ無, CD
読み取らない

Code128

読み取る
読み取らない

Industrial-2of5

読み取る
読み取らない

GS1-128(旧称UCC/EAN-128)

読み取る
読み取らない

新雑誌コード

読み取る
読み取らない

[照合対象バーコード]

項目内容および工場出荷設定は
照合元バーコードと同様です。

[照合動作]

照合方法

単純照合
部分照合

NG時 次読み取り

照合対象
照合元

照合元開始桁

1~99 (1)

照合対象開始桁

1~99 (1)

照合桁数

1~99 (1)

[デバイス]

2度読み防止

無し
有り

ブザー音

有り
無し

バイプレータ

有り
無し

連続スキャン

無し
有り

メイン動作

スキャナモード
1対1照合モード
1対N照合モード

[電源管理]

自動オフ

0 (自動オフしない)
1~99分 (5分)

[長押し時間]

長押し時間[電源オフ]

2~10秒 (7秒)

6. 設定方法

設定は、以下の何れかの方法にて行います。

- ・バーコードを読み取って設定
(工場出荷状態、または【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】を設定時)
- ・設定ツールで設定 (パソコンを使用。SPP 通信の場合のみ行うことができます。)
- ・アプリケーションからの一括設定 (SPP 通信の場合のみ行うことができます。)

6-1. バーコードを読み取って設定

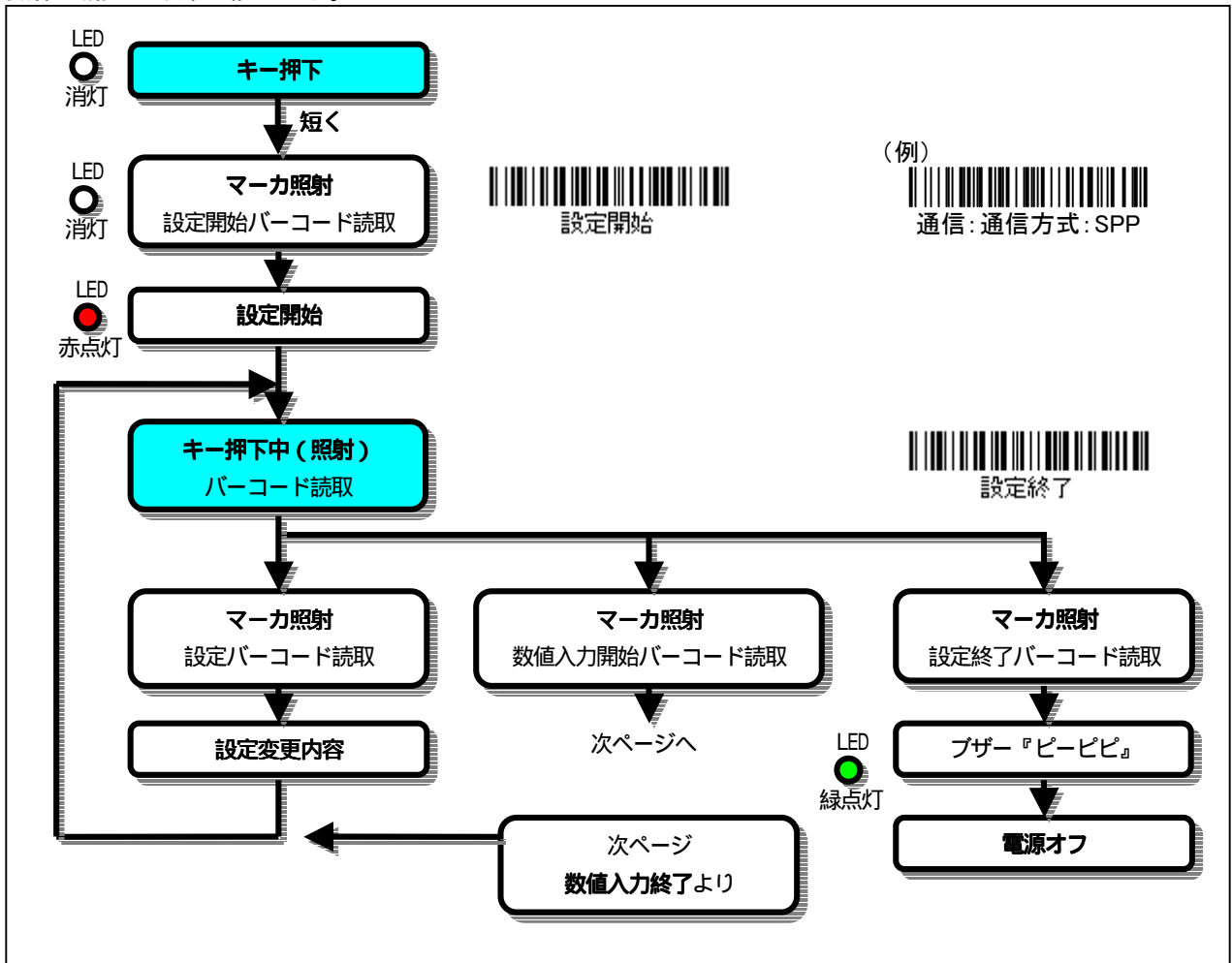
工場出荷状態、または【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】の設定時にこの方法で設定できます。トリガーキーを短く押し、設定開始バーコードを読み取ると、設定可能な状態になります。

この状態で各設定バーコードを読ませると、すぐに設定を行います。

設定を終了するには、設定終了バーコードを読ませます。すると、ブザーが『ピーピー』と鳴り電源オフします。なお、数値で設定する項目については、各項目の数値入力開始バーコードを読ませた後、1桁バーコードを読ませて設定を行います。

詳細は次ページを参照下さい。

動作の流れを以下に記します。



設定バーコードは、[10 - 5 . 設定バーコード](#)を参照。

）数値で設定する項目の設定手順

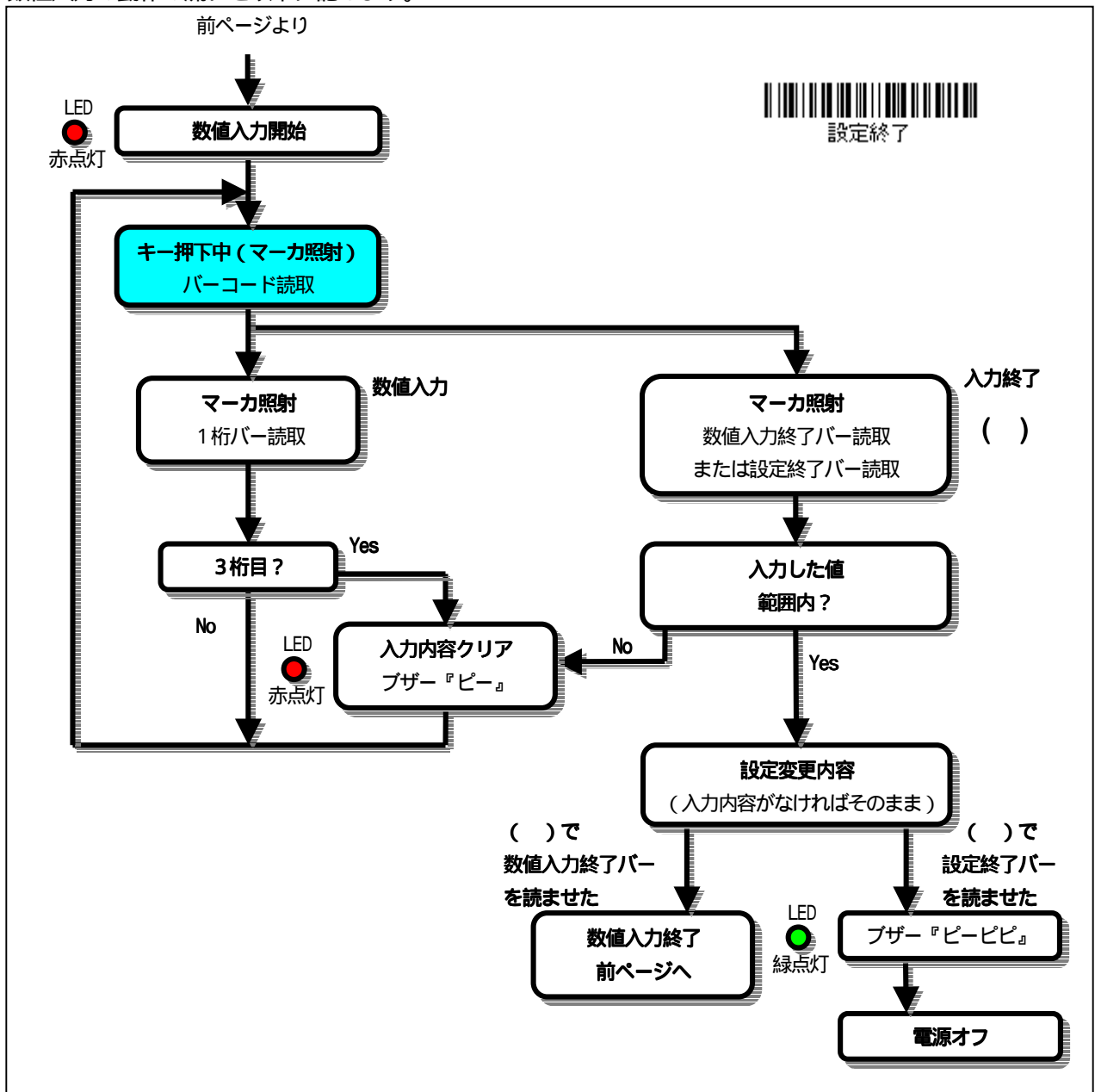
設定開始バーコードを読ませて設定開始後、設定したい項目の入力開始バーコードを読ませます。

1桁バーコードを2回読ませて設定したい値を入力します。

数値入力終了バーコードもしくは設定終了バーコードを読み取ると、入力中の値を設定し数値入力を終了します。設定終了バーコードを読み取った場合、設定後、電源オフします。数値入力終了バーコードを読み取った場合、数値入力を終了し前ページの設定処理に戻ります。詳細な動作は前ページをご参照下さい。

3桁以上読ませた場合や設定範囲外の値を読ませて終了した場合、ブザーが『ピー』と鳴り、入力内容がクリアされます。この場合は1桁目から読み直して下さい。また入力中の値が無い状態で終了した場合、設定変更をせずに終了します。

数値入力の動作の流れを以下に記します。

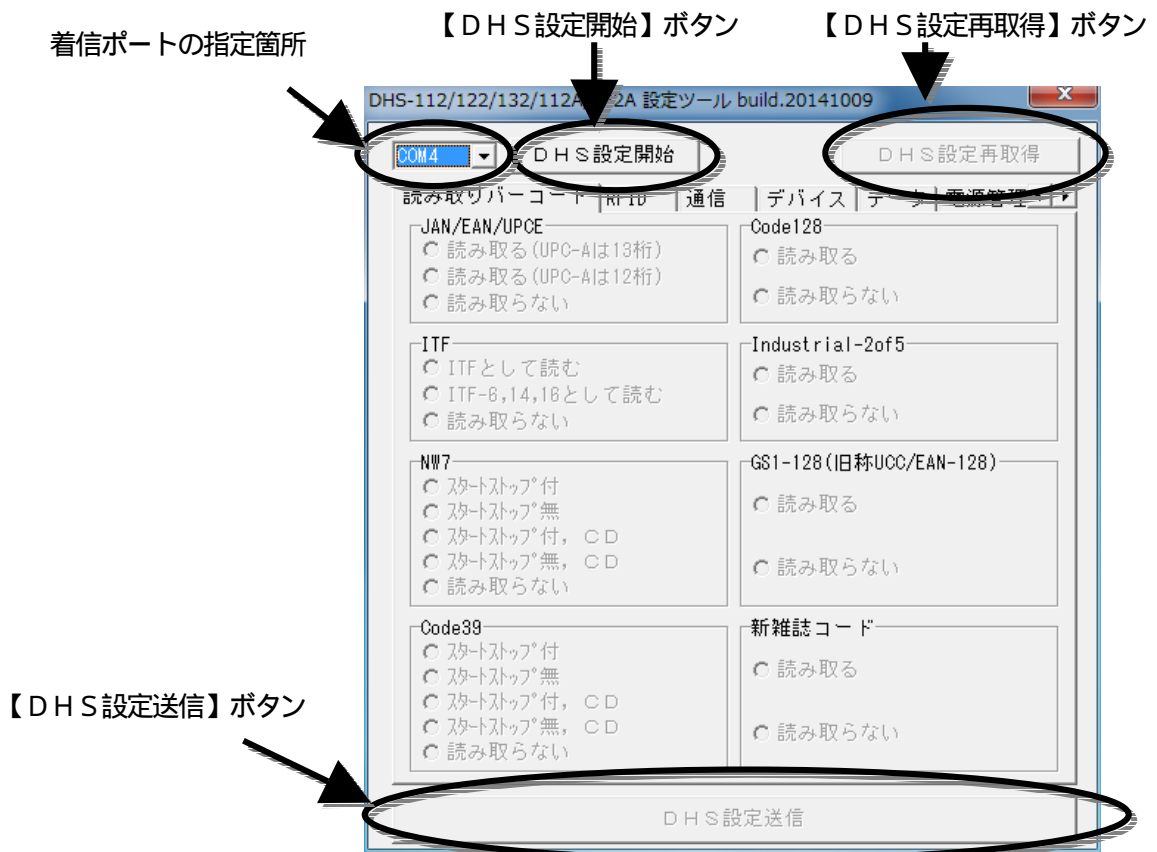


設定バーコードは、[10 - 5 . 設定バーコード](#)を参照。

6-2. 設定ツールで設定

1. パソコンに Bluetooth 着信ポートを作成します。
(作成は、ご使用のアダプタの取扱説明書等を参照して行って下さい。)
2. 設定ツールの通信ポートに、1. で作成した着信ポートを指定します。(下図の場合、COM4)
3. DHS-112A とパソコンを Bluetooth 接続します。
4. 【DHS設定開始】ボタンを押すと現在の設定を読み込み、DHS-112A が設定できる状態になります。
5. 各設定を行います。
DHS-112A の設定を再取得したい場合は【DHS設定再取得】ボタンを押して下さい。
6. 設定を終える場合は、【DHS設定送信】ボタンを押します。
DHS-112A は、設定を受信するとブザーが『ピロ』と鳴ります。
その後ブザーが『ピー』と鳴り電源オフします。もし鳴らない場合は、トリガーキーを長押しして電源オフして下さい。

以上で設定完了です。



設定ツールは、改良のため予告なく変更する場合があります。

6-3. アプリケーションからの一括設定

1. DHS-112A と機器を Bluetooth 接続します。
2. 以下の手順で通信を行います。一括設定は、接続直後のみしかできません。

機器	方向	DHS-112A
02h, "_SETTING", 03h ¹	➡	
	←	05h
00h	➡	
	←	06h
設定データ ² (64byte)	➡	
	←	設定完了 : 06h 設定失敗 : 15h 送信後、約 1 秒後に ブザーが『ピーピーピー』となり 電源オフ

1 データ詳細

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
02h	'_' (5Fh)	'S' (53h)	'E' (45h)	'T' (54h)	'T' (54h)	'I' (49h)	'N' (4Eh)	'G' (47h)	03h

- 2 設定データの詳細は [10-4. 設定データ](#) を参照。

7. 設定内容

設定内容の詳細を説明します。

(印 : 工場出荷設定)

読み取りバーコードおよび照合元バーコードおよび照合対象バーコード

読み取るバーコードの設定を行います。

スキャナモード、照合モードの照合元、照合対象それぞれ読み取るバーコードを個別に指定できます。

「読み取りバーコード」はスキャナモードで使用する読み取り設定です。

「照合元バーコード」および「照合対象バーコード」は照合モードで使用する読み取り設定です。

JAN と新雑誌コードを同時読取指定した場合は、新雑誌コードが優先されます。

JAN/EAN/UPCE

読み取る (UPC-A は 13 桁)

JAN/EAN/UPC-A/UPC-E の読み取りをします。

UPC-A を読み取るとデータ先頭に 0 を付加し、13 桁のバーコードデータとして出力します。

読み取る (UPC-A は 12 桁)

JAN/EAN/UPC-A/UPC-E の読み取りをしません。

UPC-A を読み取るとデータ先頭に 0 を付加せず、12 桁のバーコードデータとして出力します。

読み取らない

JAN/EAN/UPC-A/UPC-E の読み取りをしません。

ITF

ITF として読む

Interleaved-2of5 として読み取ります。

ITF-6, 14, 16 として読む

ITF-6, 14, 16 として読み取ります。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

読み取らない

ITF の読み取りをしません。

NW7

スタートストップ 付

NW7 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きません。

スタートストップ 無

NW7 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きます。

スタートストップ 付, CD

NW7 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きません。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 16 でチェック)

スタートストップ 無, CD

NW7 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きます。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 16 でチェック)

読み取らない

NW7 の読み取りをしません。

Code39

スタートストップ 付

Code39 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きません。

スタートストップ 無

Code39 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きます。

スタートストップ 付, C D

Code39 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きません。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 43 でチェック)

スタートストップ 無, C D

Code39 を読み取った後、バーコードデータからスタートストップキャラクタを取り除きます。

この時チェックディジットのチェックを行い、エラーであれば読み取りません。

(モジュラス 43 でチェック)

読み取らない

Code39 の読み取りをしません。

Code128

読み取る

Code128 の読み取りをします。

読み取らない

Code128 の読み取りをしません。

Industrial-2of5

読み取る

Industrial-2of5 の読み取りをします。

読み取らない

Industrial-2of5 の読み取りをしません。

GS1-128(旧称 UCC/EAN-128)

読み取る

GS1-128 の読み取りをします。

読み取らない

GS1-128 の読み取りをしません。

新雑誌コード

読み取る

新雑誌コードの読み取りをします。

読み取らない

新雑誌コードの読み取りをしません。

通信

接続モード

マスタ

DHS-112A から接続を行うマスタの設定にします。

『アドレスバーコードを読み取って、そのアドレスにマスタ接続』する場合は、

【キー操作】 - 【起動時】 - 【バーコード読み取り】に設定して下さい。

『登録しているアドレスへマスタ接続』する場合は、

【キー操作】 - 【起動時】 - 【Bluetooth 接続】に設定して下さい。

スレーブ

DHS-112A は接続を待ち受けるスレーブの設定にします。

スレーブに設定すると通信方式が「SPP 通信」に変更されます。

接続しない

Bluetooth 接続を行わない動作になります。

通信方式

HID 通信

Bluetooth プロファイルの HID の機器と接続する場合に設定します。

HID 通信に設定すると、接続モードが「マスタ」に変更されます。

SPP 通信

Bluetooth プロファイルの SPP の機器と接続する場合に設定します。

通信方式を切り替えると登録済みアドレスは消去されます。再度ペアリングをし直して下さい。

応答確認 (通信方式が SPP のみ)

無し

読み取ったバーコードデータを相手機器に送信する場合、相手機器の受け取り応答は無いものとして送信のみ行います。

ACK

読み取ったバーコードデータを相手機器に送信後、相手機器の受け取り応答を待ちます。

受け取り応答は正常時 ACK(06h)、異常時 NAK(15h)とし NAK(15h)受信時は3回まで再送します。

3回目の再送で NAK(15h)を受け取るとエラーとします。

3秒以上応答が無い場合は再送します。

ホスト制御 (通信方式が SPP のみ)

無し

ホスト制御を受け付けません。

有り

ホスト制御を受け付けます ([10 - 6 . ホスト制御](#)を参照)。

HID キー変換（通信方式がHIDのみ）

英語キーボード

相手機器のキーボードが英語キーボードの場合に設定して下さい。

日本語キーボード

相手機器のキーボードが日本語キーボードの場合に設定して下さい。

HID 文字間タイムアウト（通信方式がHIDのみ）

データを送る際、文字を送ってから次の文字を送るまでに一定時間待つことで、接続機器が確実に受信できるようにします。

0

待ち時間を挟まず、すぐ次の文字を送信します。

1～50

次の文字を送るまで一定時間待ちます。待ち時間は10ms単位で指定します。

（例）1 10ms

50 500ms

デバイス

2度読み防止

無し

同じバーコードの2度読みを制限しません。

有り

同じバーコードの読みを5秒間受け付け無いことで2度読みを防止します。

ブザー音

有り

バーコード読み取り時、ブザーで知らせます。

無し

バーコード読み取り時、ブザーで知らせません。

バイブレータ

有り

バーコード読み取り時、バイブレータで知らせます。

無し

バーコード読み取り時、バイブレータで知らせません。

動作モード

スキャナモード

スキャナモードとして動作します。

1対1照合モード

1対1照合モードとして動作します。

1対N照合モード

1対N照合モードとして動作します。

連続スキャン

する

トリガーキーを押すとバーコード読み取り動作を連続的に行います。再度トリガーキーが押されるまで次々と読み取りを行います。再度トリガーキーを押すか一定時間経過（タイムアウト）すると読み取り動作を中断します。

しない

連続スキャンを行いません。

	連続スキャンしない	連続スキャンする
トリガーキーで中断	無し	有り
最大照射時間（タイムアウト）	3秒	10秒
読み取り成功後	読み取りを終了	次の読み取りを開始

データ

先頭付加（バーコード）

無し

読み取ったバーコードデータの先頭には何も付加しません。

Symbol 準拠

読み取ったバーコードデータの先頭に以下のバーコード識別文字を付加して送信します。

読み取りコード	先頭付加文字
UPC-A/UPC-E/JAN8/JAN13	A
Code39	B
NW7	C
Code128	D
Interleaved-2of5	F
Industrial-2of5	G
EAN128	K
新雑誌コード	A
ITF-6/ITF-14/ITF-16	F

AIM 準拠

読み取ったバーコードデータの先頭に以下のバーコード識別文字を付加して送信します。

読み取りコード	先頭付加文字
Code39]A4
Code128]C0
EAN128]C1
UPC-A/JAN13]E0
新雑誌コード]E0,]E2
JAN8/UPC-E]E4
NW7]F0
Interleaved-2of5]I0
Industrial-2of5]S0
ITF-6/ITF-14/ITF-16]I0

]E0の後に13桁、]E2の後に残り5桁となります。

終端付加

無し

読み取ったバーコードデータの最後には何も付加しません。

CR

読み取ったバーコードデータの最後に CR(0Dh)を付加して送信します。

LF

読み取ったバーコードデータの最後に LF(0Ah)を付加して送信します。

TAB

読み取ったバーコードデータの最後に TAB(09h)を付加して送信します。

ETX(STX)

読み取ったバーコードデータの先頭に STX(02h)、最後に ETX(03h)を付加して送信します。
(先頭付加文字を指定した場合には先頭付加文字の前に STX(02h)を付加します)

(例) バーコードデータが『1234』の場合、送信データは次のようになります。

『無し』場合

ASCII: 1 2 3 4

HEX: :31h 32h 33h 34h

『CR』場合

ASCII: 1 2 3 4 <CR>

HEX: :31h 32h 33h 34h 0Dh

『LF』場合

ASCII: 1 2 3 4 <LF>

HEX: :31h 32h 33h 34h 0Ah

『TAB』場合

ASCII: 1 2 3 4 <TAB>

HEX: :31h 32h 33h 34h 09h

『ETX(STX)』場合

ASCII:<STX> 1 2 3 4 <ETX>

HEX: : 02h 31h 32h 33h 34h 03h

電源管理

自動オフ

0 (自動オフしない)

自動的に電源オフしません。

1~99分 (5分)

何も操作しない状態が設定時間経過すると自動的に相手機器との通信を切断して電源オフします。

データ項目

区切り

CR

機器 ID とバーコードデータを CR(0Dh) で区切ります。

LF

機器 ID とバーコードデータを LF(0Ah) で区切ります。

TAB

機器 ID とバーコードデータを TAB(09h) で区切ります。

カンマ

機器 ID とバーコードデータをカンマ(2Ch) で区切ります。

機器 ID 付加

しない

データに機器 ID を付加しません。

する

データに機器 ID を付加して送信します。

機器 ID とデータの間には、【区切り】で指定したキャラクタが入ります。

(例) 機器 ID 『123456』_Ⓜバーコードデータ 『ABCD』_Ⓜ

【データ】 - 【端末付加】 - 【CR】

【データ項目】 - 【区切り】 - 【カンマ】の場合の

送信データは次のようになります。

ASCII: 1 2 3 4 5 6 , A B C D <CR>

HEX :31h 32h 33h 34h 35h 36h 2Ch 41h 42h 43h 44h 0Dh

キー操作

起動時

バーコード読み取り

起動時、トリガーキーを短く押すと、バーコードを読み取ります。

Bluetooth 接続

起動時、トリガーキーを短く押すと、Bluetooth 接続 / 接続待ちを行います。

「Bluetooth 接続」に設定すると以後はバーコードによる設定はできませんのでご注意ください。

再度設定を行うには、

- ・SPP 通信の場合は、設定ツールを使用して設定することができます。
- ・HID 通信の場合は、一度設定を初期化する必要があります。

初期化の方法については、[8 . 設定初期化](#)をご参照下さい。

長押し時間

長押し時間 [前回の接続先に接続]

起動時にキーを長押しして接続動作に移行するまでの時間を指定します。

キー操作 起動時「バーコード読み取り」設定時に機能します。

2 ~ 10 秒 (3 秒)

長押し時間 [ペアリングモードに移行]

起動時にキーを長押ししてペアリングモードに移行するまでの時間を指定します。

キー操作 起動時「Bluetooth 接続」設定時に機能します。

2 ~ 10 秒 (5 秒)

長押し時間 [ソフトキーON]

iOS 機器との接続時に、長押ししてソフトキーボードを ON するまでの時間を指定します。

1 ~ 9 秒 (3 秒)

長押し時間[電源オフ]より短くしないと機能しませんのでご注意ください。

長押し時間 [電源オフ]

キーを長押しして電源オフするまでの時間を指定します。

2 ~ 10 秒 (7 秒)

照合動作

照合方法

単純照合

照合元バーコードと、照合対象バーコードをそのまま照合します。

部分照合

照合元バーコードの一部分と、照合対象バーコードの一部分を照合します。

照合元バーコード の「照合元開始桁」 から「照合桁数」

照合対象バーコードの「照合対象開始桁」から「照合桁数」

を照合します。

NG 時 次読み取り (1 対 N 照合モードのみ)

照合対象

照合結果 NG 時、トリガーキーを押した後、照合対象の読み取りを行います。

照合元

照合結果 NG 時、トリガーキーを押した後、照合元の読み取りを行います。

照合元開始桁

照合方法「部分照合」設定の、照合元バーコードの照合開始桁位置を指定します。

1 ~ 99 (1 桁目)

照合対象開始桁

照合方法「部分照合」設定の、照合対象バーコードの照合開始桁位置を指定します。

1 ~ 99 (1 桁目)

照合桁数

照合方法「部分照合」設定の、照合桁数を指定します。

1 ~ 99 (1 桁)

8. 設定初期化

設定初期化を行うと、すべての設定がクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。
以下の手順で行ってください。

トリガーキーを30秒間押し続けてください。

押し始めて20秒経つとLEDが赤緑交互に点滅し、ブザーが「ピーー」と鳴ります。

さらに10秒経つとLEDが消え、「ピッ」と鳴りますので、一旦トリガーキーを離してから5秒以内に3回押し下さい。ブザーが「ピロリ」と鳴り、初期化が始まります。

初期化が完了すると、LEDが赤に点灯してブザーが「ピー」と鳴った後、自動的に電源オフします。

9. 状態早見表

LEDの状態より DHS-112A の動作がわかります。

LED	動作
消灯	電源オフの状態です
青点滅(速い:100ms 点灯/100ms 消灯)	Bluetooth 接続試行中 タイムアウト マスタ: 3秒~10秒 スレーブ: 60秒
青点滅(遅い:100ms 点灯/900ms 消灯)	Bluetooth 接続中 (データの送信ができます)
緑点灯(1秒点灯)	・バーコード読み取り成功 ・照合OK
赤点滅(遅い:100ms 点灯/900ms 消灯)	電池残量 警告 (電池交換をおすすめします) 状態: Bluetooth 接続中 (データの送信がまだできます)
赤点滅(速い:100ms 点灯/100ms 消灯)	電池残量 無し (電池交換をして下さい) 状態: Bluetooth 切断
赤点灯(電源オフするまで点灯)	・電源オフします ・Bluetooth の接続が途切れたので、電源オフします
赤点灯(1秒点灯)	・応答エラー (応答設定をした場合) ・設定時の数値入力エラー
赤緑交互点滅(速い:100ms ずつ点灯)	・照合対象バーコード読み取り (照射オフ時) ・設定初期化の操作の途中 10秒間
赤緑交互点滅(遅い:500ms ずつ点灯)	Bluetooth アドレスバーコード読み取り中(1桁ずつ)
赤点灯	バーコード設定モード
青点滅(900ms 点灯/100ms 消灯)	ペアリングモード 120秒

ブザー音より状態変化がわかります。

ブザー	動作モード
ピロ	・バーコード読み取り成功 (照合元バーコード以外) ・照合OK
ピッ	・照合元バーコード読み取り成功 ・設定初期化の操作時、30秒経過
ピーピーピー	電源オフします
ピー	・Bluetooth の接続が途切れたので、電源オフします ・応答エラー (応答設定をした場合)
ピロリ	Bluetooth 接続完了
ピーピピ	バーコード設定モードで設定完了

10. 付録

10-1. ペアリングバーコード

ペアリングバーコードは、Code39 で、以下のバーコードをご使用下さい。



10-2. アドレスバーコード

アドレスバーコードは、Code39 または、Code128 で以下のように作成して下さい。

接続先アドレスが『0123456789AB』の場合

Code39(14桁)



Code128(12桁)



10-3. アドレスバーコード(1桁入力用)

アドレスバーコードの入力は、以下をご使用下さい。

入力を間違えた場合、『BS』のバーコードを読み取ると、直前の入力をクリアします。



設定開始



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



BS

アドレスバーコード詳細 種類 : Code128

0	『0』(1桁)	8	『8』(1桁)
1	『1』(1桁)	9	『9』(1桁)
2	『2』(1桁)	A	『A』(1桁)
3	『3』(1桁)	B	『B』(1桁)
4	『4』(1桁)	C	『C』(1桁)
5	『5』(1桁)	D	『D』(1桁)
6	『6』(1桁)	E	『E』(1桁)
7	『7』(1桁)	F	『F』(1桁)
		BS	『BS』(1桁)

10-4. 設定データ

アプリケーションからの一括設定する場合のデータの詳細でデータ長は64byteになります。

工場出荷状態の設定の場合は、FFhを指定して下さい。

詳しくは、[6-3. アプリケーションからの一括設定](#)を参照して下さい。

位置	内容	設定値	
0	【読み取りバーコード】 - 【JAN/EAN/UPCE】	00h	読み取らない
		01h	読み取る(UPC-Aは12桁)
		以外	読み取る(UPC-Aは13桁)
1	【読み取りバーコード】 - 【ITF】	00h, FFh	読み取らない
		01h	ITF-6, 14, 16として読む
		以外	ITFとして読む
2	【読み取りバーコード】 - 【NW7】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、CD
		02h	スタートストップ付、CD
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
3	【読み取りバーコード】 - 【Code39】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、CD
		02h	スタートストップ付、CD
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
4	【読み取りバーコード】 - 【Code128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
5	【読み取りバーコード】 - 【Industrial 2of5】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
6	【読み取りバーコード】 - 【GS1-128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
7	【読み取りバーコード】 - 【新雑誌コード】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
8-14	予約	必ず FFh	
15	【通信】 - 【接続モード】	00h	接続しない
		01h, FFh	マスタ
		以外	スレーブ
16	【通信】 - 【通信方式】	00h, 02h, FFh	HID 通信
		それ以外	SPP 通信
17	予約	必ず FFh	
18	【通信】 - 【応答確認】	00h, FFh	無し
		以外	ACK
19	【通信】 - 【ホスト制御】	00h, FFh	無し
		以外	有り
20	【デバイス】 - 【2度読み防止】	00h, FFh	無し
		以外	有り
21	予約	必ず FFh	

位置	内容	設定値	
22	【デバイス】 - 【ブザー音】	00h	無し
		以外	有り
23	【デバイス】 - 【パイプレータ】	00h	無し
		以外	有り
24	【データ】 - 【先頭付加】	00h, FFh	無し
		01h	Symbol 準拠
		02h	AIM 準拠
25	【データ】 - 【終端付加】	00h, FFh	無し
		01h	CR
		02h	TAB
		03h	ETX(STX)
		04h	LF
26	【電源管理】 - 【自動オフ時間】	00h	自動オフしない
		FFh	5分
		以外	設定時間(分)で自動オフ
27	【キー操作】 - 【起動時】	00h, FFh	バーコード読み取り
		以外	Bluetooth 接続
28	予約	必ず FFh	
29	【データ項目】 - 【区切り】	00h, FFh	CR
		01h	TAB
		02h	カンマ
		以外	LF
30	【データ項目】 - 【機器 ID 付加】	00h, FFh	しない
		以外	する
31	【デバイス】 - 【動作モード】	00h, FFh	スキャナモード
		01h	1対1照合モード
		以外	1対N照合モード
32	【デバイス】 - 【連続スキャン】	00h, FFh	しない
		以外	する
33	【通信】 - 【HID キー変換】	00h, FFh	英語キーボード
		以外	日本語キーボード
34	【照合元バーコード】 - 【JAN/EAN/UPCE】	00h	読み取らない
		以外	読み取る
35	【照合元バーコード】 - 【ITF】	00h, FFh	読み取らない
		01h	ITF-6, 14, 16 として読む
		以外	ITF として読む
36	【照合元バーコード】 - 【NW7】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、C D
		02h	スタートストップ付、C D
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付

位置	内容	設定値	
37	【照合元バーコード】 - 【Code39】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、C D
		02h	スタートストップ付、C D
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
38	【照合元バーコード】 - 【Code128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
39	【照合元バーコード】 - 【Industrial 2of5】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
40	【照合元バーコード】 - 【GS1-128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
41	【照合元バーコード】 - 【新雑誌コード】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
42	【照合対象バーコード】 - 【JAN/EAN/UPCE】	00h	読み取らない
		以外	読み取る
43	【照合対象バーコード】 - 【ITF】	00h, FFh	読み取らない
		01h	ITF-6, 14, 16 として読む
		以外	ITF として読む
44	【照合対象バーコード】 - 【NW7】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、C D
		02h	スタートストップ付、C D
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
45	【照合対象バーコード】 - 【Code39】	00h, FFh	読み取らない
		01h	スタートストップ無、C D
		02h	スタートストップ付、C D
		03h	スタートストップ無
		以外	スタートストップ付
46	【照合対象バーコード】 - 【Code128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
47	【照合対象バーコード】 - 【Industrial 2of5】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
48	【照合対象バーコード】 - 【GS1-128】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
49	【照合対象バーコード】 - 【新雑誌コード】	00h, FFh	読み取らない
		以外	読み取る
50	【照合動作】 - 【照合方法】	00h, FFh	単純照合
		以外	部分照合
51	【照合動作】 - 【照合元開始桁】	00h, 01h, FFh	1 桁目
		以外	1~99 で指定
52	【照合動作】 - 【照合対象開始桁】	00h, 01h, FFh	1 桁目
		以外	1~99 で指定

位置	内容	設定値	
53	【照合動作】 - 【照合桁数】	00h,01h,FFh	1 桁目
		以外	1~99 で指定
54	【照合動作】 - 【NG時 次読み取り】	00h,FFh	照合対象
		以外	照合元
55	【通信】 - 【HID文字間タイムアウト】	00h,FFh	0ms
		以外	1~50 で指定 ¹
56-57	予約	必ず FFh	
58	【長押し時間】 - 【前回の接続先に接続】	03h,FFh	3 秒
		以外	2~10 秒で指定
59	【長押し時間】 - 【ペアリングモードに移行】	05h,FFh	5 秒
		以外	2~10 秒で指定
60	【長押し時間】 - 【ソフトキーON】	03h,FFh	3 秒
		以外	1~9 秒で指定
61	【長押し時間】 - 【電源オフ】	07h,FFh	7 秒
		以外	2~10 秒で指定
62-63	予約	必ず FFh	

- 1 HID文字間タイムアウトは10ms単位で指定します。
たとえば10を指定した場合、実際のタイムアウト時間は100msとなります。

10-5. 設定バーコード

設定は、『設定開始』バーコードを読み取ってから行います。『設定終了』バーコードを読み取ると設定終了します。詳しくは、[6-1. バーコードを読み取って設定](#)を参照して下さい。印刷の際は、印字品質を高くして下さい。

【設定開始】	【設定終了】

読み取りバーコード		
JAN/EAN/UPCE	読み取る(UPC-A は 13 桁)	
	読み取る(UPC-A は 12 桁)	
	読み取らない	
ITF	ITF として読む	
	ITF-6, 14, 16 として読む	
	読み取らない	
NW7	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
Code39	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
Code128	読み取る	
	読み取らない	

【設定開始】 	【設定終了】
-------------------	-------------------

読み取りバーコード		
Industrial 2of5	読み取る	
	読み取らない	
GS1-128	読み取る	
	読み取らない	
新雑誌コード	読み取る	
	読み取らない	

通信		
接続モード	マスタ	
	スレーブ ¹	
	デモ用途（接続しない）	
通信方式 ²	HID 通信	
	SPP 通信	
応答確認	無し	
	ACK	
ホスト制御	無し	
	有り	
HID キー変換	英語キーボード	
	日本語キーボード	

1 スレーブに設定すると、設定バーコードによる設定ができなくなります。設定バーコードによる設定を行いたい場合は、ペアリングをし直してマスタ接続に切り替えて下さい。

2 通信方式を切り替えると登録済みアドレスは消去されます。再度ペアリングし直して下さい。

HID 文字間タイムアウトの設定バーコードは、P.49 にあります。

【設定開始】	【設定終了】

デバイス		
2度読み防止	無し	
	有り	
ブザー音	有り	
	無し	
バイブレータ	有り	
	無し	
連続スキャン	しない	
	する	
動作モード	スキャナモード	
	1対1照合モード	
	1対N照合モード	

データ		
先頭付加	無し	
	Symbol 準拠	
	AIM 準拠	
終端付加	無し	
	CR	
	LF	
	TAB	
	ETX(STX)	

【設定開始】	【設定終了】

データ項目		
区切り設定	CR	
	LF	
	TAB	
	カンマ	
機器 ID 付加	しない	
	する	


キー操作		
起動時 ³	バーコード読み取り	
	Bluetooth 接続	


- 3 「Bluetooth 接続」に設定すると以後はバーコードによる設定はできませんのでご注意ください。
- 再度設定を行うには、
- ・SPP 通信の場合は、設定ツールを使用して設定することができます。
 - ・HID 通信の場合は、一度設定を初期化する必要があります。
- 初期化の方法については、[8 . 設定初期化](#)をご参照下さい。
















長押し時間の設定バーコードは、P.49 にあります。



【設定開始】 	【設定終了】
-------------------	-------------------

照合元バーコード		
【照合元】 JAN/EAN/UPCE	読み取る	
	読み取らない	
【照合元】 ITF	ITF として読む	
	ITF-6,14,16 として読む	
	読み取らない	
【照合元】 NW7	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
【照合元】 Code39	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
【照合元】 Code128	読み取る	
	読み取らない	
【照合元】 Industrial 2of5	読み取る	
	読み取らない	





【設定開始】 	【設定終了】 
--	---

【照合元】 GS1-128	読み取る	
	読み取らない	
【照合元】 新雑誌コード	読み取る	
	読み取らない	


照合対象バーコード		
【照合対象】 JAN/EAN/UPCE	読み取る	
	読み取らない	
【照合対象】 ITF	ITF として読む	
	ITF-6,14,16 として読む	
	読み取らない	
【照合対象】 NW7	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	
【照合対象】 Code39	スタートストップ付	
	スタートストップ無	
	スタートストップ付、CD	
	スタートストップ無、CD	
	読み取らない	

【設定開始】 	【設定終了】 
--	---



【照合対象】 Code128	読み取る	
	読み取らない	
【照合対象】 Industrial 2of5	読み取る	
	読み取らない	
【照合対象】 GS1-128	読み取る	
	読み取らない	
【照合対象】 新雑誌コード	読み取る	
	読み取らない	



照合動作		
照合方法	単純照合	
	部分照合	
NG時 次読み取り	照合対象	
	照合元	

照合元開始桁、照合対象開始桁、照合桁数の設定バーコードは、P.49 にあります。

メンテナンス	
工場出荷状態 ⁴	

4 設定を初期化しますので、注意して下さい。
ブザーが『ピー』と鳴り、自動的に電源オフします。

【設定開始】 	【設定終了】 
--	---

数値入力											
HID 文字間タイムアウト 入力開始											
自動オフ時間 入力開始											
長押し時間[前回の接続先に接続] 入力開始											
長押し時間[ペアリングモードに移行] 入力開始											
長押し時間[ソフトキーON] 入力開始											
長押し時間[電源オフ] 入力開始											
照合元開始桁 入力開始											
照合対象開始桁 入力開始											
照合桁数 入力開始											
<p>設定したい項目の入力開始 バーコードを読ませます。 右の数値バーコードを2桁 読ませます。 数値入力終了バーコードを 読ませます。</p> <p>「自動オフしない」設定にする 場合は、0を指定して下さい。</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">  0 </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">  5 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  1 </td> <td style="text-align: center;">  6 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  2 </td> <td style="text-align: center;">  7 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  3 </td> <td style="text-align: center;">  8 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  4 </td> <td style="text-align: center;">  9 </td> </tr> </table>	 0	 5	 1	 6	 2	 7	 3	 8	 4	 9
 0	 5										
 1	 6										
 2	 7										
 3	 8										
 4	 9										
数値入力終了											

10-6. ホスト制御

ホスト制御を有りの設定にした場合、以下のデータを送信して DHS-112A を制御することができます。
 ただし、スキャン動作中は、ホスト制御を受け付けません。

データ	内容
02h, "BCR_SCAN", 03h	バーコード読取
02h, "BUZOUT_0", 03h	ブザー 100ms オン (【デバイス】 - 【ブザー音】の設定は影響しません)
02h, "BUZOUT_1", 03h	ブザー 500ms オン (【デバイス】 - 【ブザー音】の設定は影響しません)
02h, "VIBOUT_0", 03h	バイブレータ 100ms オン (【デバイス】 - 【バイブレータ】の設定は影響しません)
02h, "VIBOUT_1", 03h	バイブレータ 500ms オン (【デバイス】 - 【バイブレータ】の設定は影響しません)
02h, "GET_BATT", 03h	電圧値取得 結果はバーコードデータと同じフォーマットで送ります。 (例)2.76V、【データ】 - 【終端付加】 - 【CR】の場合 "2.76", 0Dh


ホスト制御データの詳細

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
02h	B (42h)	C (43h)	R (52h)	- (5Fh)	S (53h)	C (43h)	A (41h)	N (4Eh)	03h
02h	B (42h)	U (55h)	Z (5Ah)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	- (5Fh)	0 (30h)	03h
02h	B (42h)	U (55h)	Z (5Ah)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	- (5Fh)	1 (31h)	03h
02h	V (56h)	I (49h)	B (42h)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	- (5Fh)	0 (30h)	03h
02h	V (56h)	I (49h)	B (42h)	0 (4Fh)	U (55h)	T (54h)	- (5Fh)	1 (31h)	03h
02h	G (47h)	E (45h)	T (54h)	- (5Fh)	B (42h)	A (41h)	T (54h)	T (54h)	03h

11. 困ったときには

困ったときには、以下の症状の項目を一度確認してみてください。

症状	トリガーキーを押し接続動作を行うと、ブザーが『ピーピーピー』と鳴り電源がオフする。
対策案	アドレスバーコードが正しいか確認して下さい。 一度でも接続を行っている場合、トリガーキーを離さずに押し続けて下さい。 (LED が青点滅を始めたらトリガーキーを離します)
症状	トリガーキーを押し接続動作を行うと LED の青点滅になり、暫くするとブザーが『ピーピーピー』と鳴り電源が切れる。
対策案	・接続相手の Bluetooth がオンになっているか確認して下さい。 ・(SPP 通信の場合) 接続相手のアプリケーションの SPP のポートをオープン状態にしているか確認して下さい。
症状	トリガーキーを押し接続動作を行うと、LED の青点滅が始まらず、赤点滅になっている。
対策案	電池残量がありません。 トリガーキーをブザーが『ピーピーピー』と鳴るまで押し続けて下さい。 この操作により電源オフできますので、電池を取り外して交換して下さい。
症状	通信中の LED がいつもは青色が点滅しているのに赤色になった。
対策案	電池残量が少なくなってきました。 まだ使用はできますが、電池を交換することをおすすめします。
症状	通信中に急に LED が速い赤点滅になった。
対策案	電池残量がありません。 トリガーキーをブザーが『ピーピーピー』と鳴るまで押し続けて下さい。 この操作により電源オフできますので、電池を取り外して交換して下さい。
症状	接続時に、接続相手に PIN コードを入力する画面が表示される。
対策案	"3939"を入力して下さい。
症状	ペアリングモードにならない。
対策案	・(「起動時：バーコード読み取り」設定の場合) ペアリングバーコードを読ませます。 ・(「起動時：Bluetooth 接続」設定の場合) LED が消えている状態で、トリガーキーを押し続けます。すると、LED が青点灯しますので、点灯したらトリガーキーを離して下さい。 青点滅(ON:長)になるとペアリング待ち動作ですので接続相手より検索を行って下さい。
症状	ペアリングモードで何とペアリングすればよいかわからない。
対策案	デバイス検索を行ったときに見つかった名称『DHS-100A xxxxxx』とペアリングして下さい。 xxxxxx は機器 ID です。

-  **Bluetooth®**はBluetooth SIG inc.の登録商標です。
- iPhone、iPad はApple Inc.の商標です。
- iOS 商標は、米国Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- **Sparklet**は株ディジ・テックの登録商標です。
- 本資料は製品の改良や資料の内容の改善のため予告なく変更することがあります。
- この資料は2014年11月27日現在のものです。

株式会社 ディジ・テック

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 13-48
ベルパーク大津ビル3F
Phone 077-510-1212
FAX 077-510-1211
<http://www.digi-tek.com/>